令和８年度

橋梁修繕工事（Ｒ８）

白井市復地先　107A橋

設　計　図

白井市役所　都市建設部　道路課

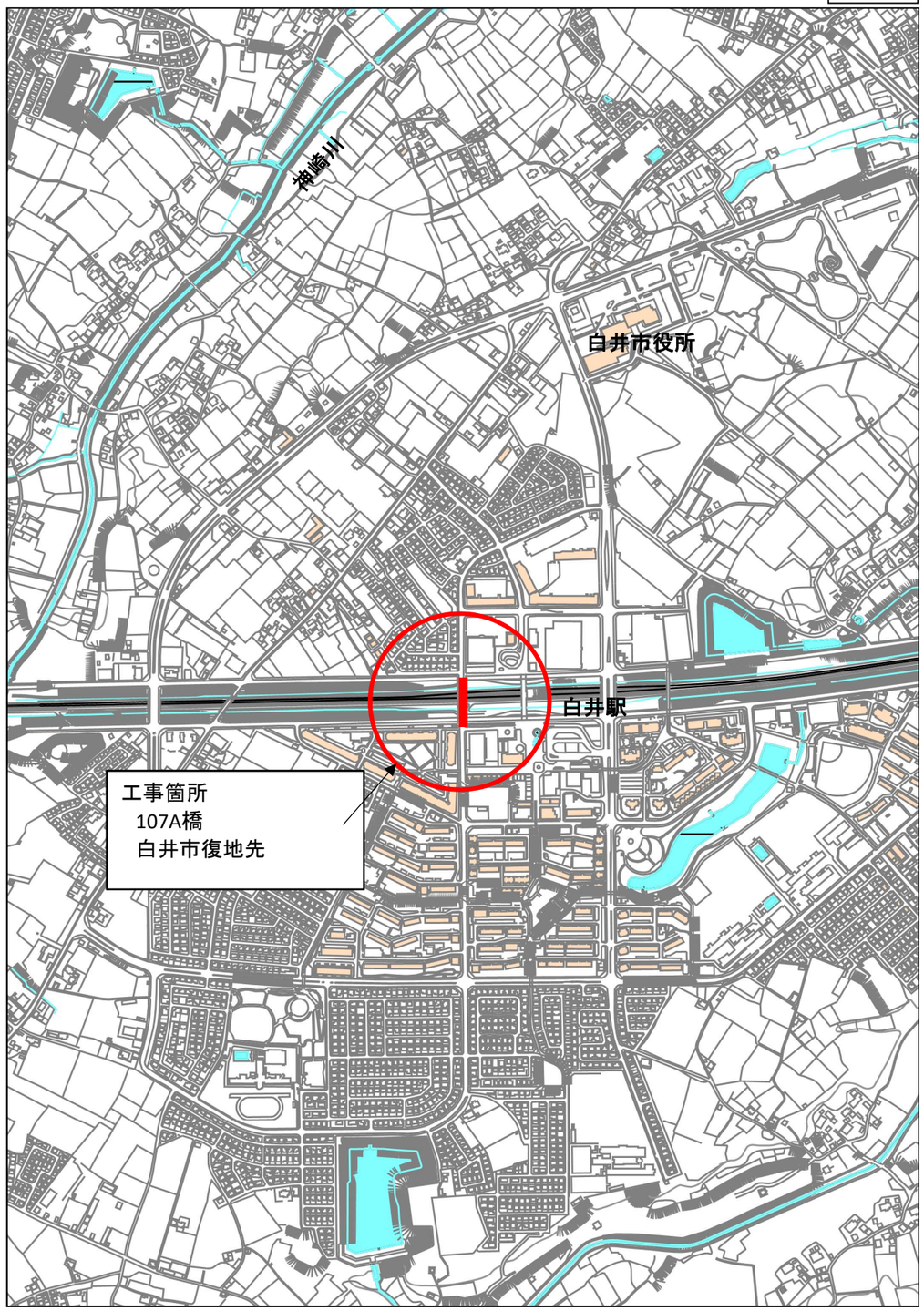
令和8年度　橋梁修繕工事（R8）

図面目次

番号	図面種別	備考
1/20	位置図、案内図	107A橋
2/20	橋梁一般図	107A橋
3/20	補修一般図	107A橋
4/20	P1橋脚既設撤去図	107A橋
5/20	A2橋台既設撤去図	107A橋
6/20	P1橋脚落橋防止システム図（その1）	107A橋
7/20	P1橋脚落橋防止システム図（その2）	107A橋
8/20	P1橋脚落橋防止システム図（その3）	107A橋
9/20	P1橋脚落橋防止システム図（その4）	107A橋
10/20	A2橋台落橋防止システム図（その1）	107A橋

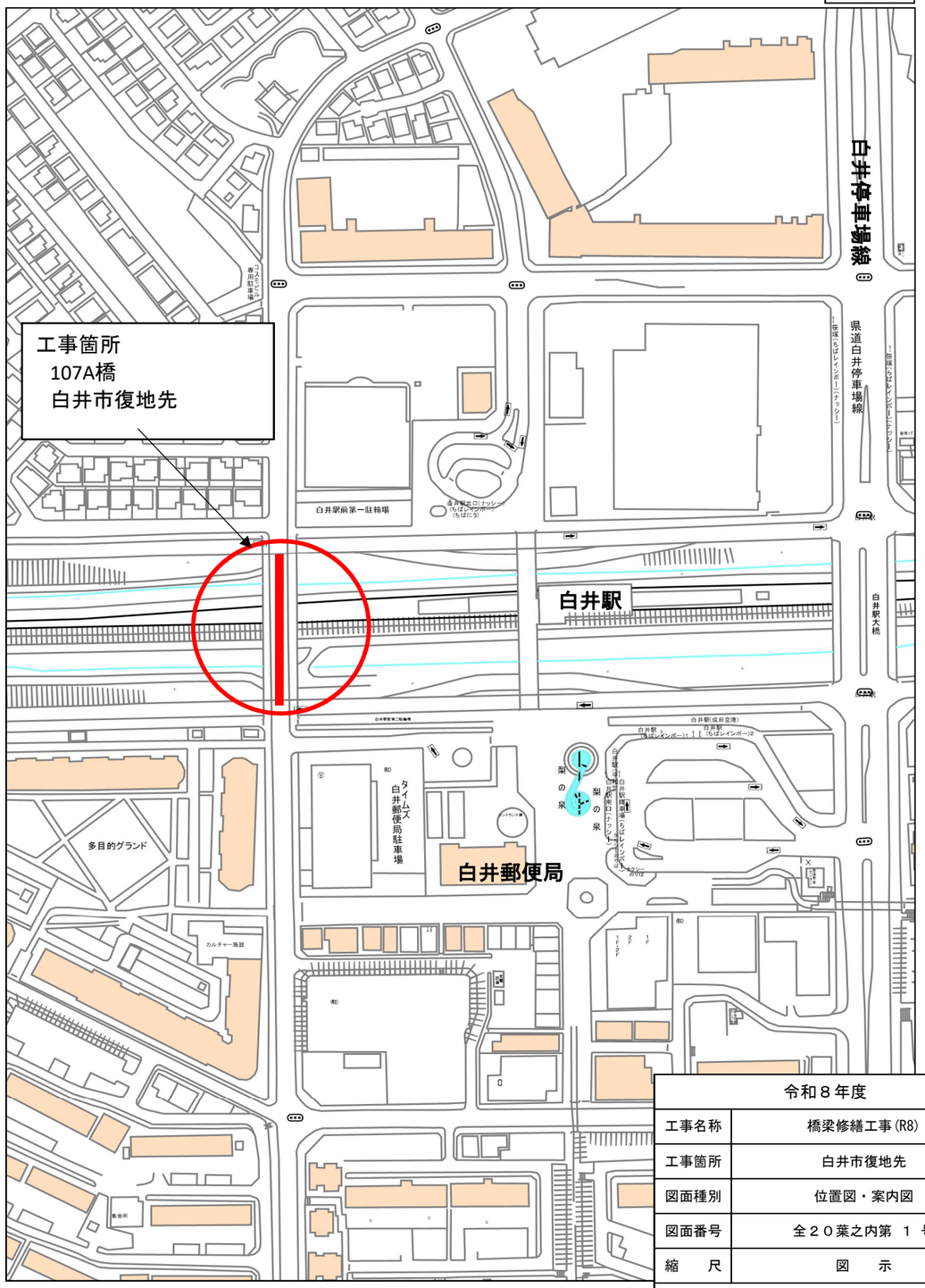
番号	図面種別	備考
11/20	A2橋台落橋防止システム図（その2）	107A橋
12/20	A2橋台落橋防止システム図（その3）	107A橋
13/20	A2橋台落橋防止システム図（その4）	107A橋
14/20	A2橋台落橋防止システム図（その5）	107A橋
15/20	A2橋台落橋防止システム図（その6）	107A橋
16/20	A2橋台落橋防止システム図（その7）	107A橋
17/20	支承補修図	107A橋
18/20	照明柱アンカーボルト防錆図	107A橋
19/20	排水装置補修図	107A橋
20/20	施工計画図（参考図）	107A橋

位置図(107A橋)



縮尺　1：10000

位置図(107A橋)

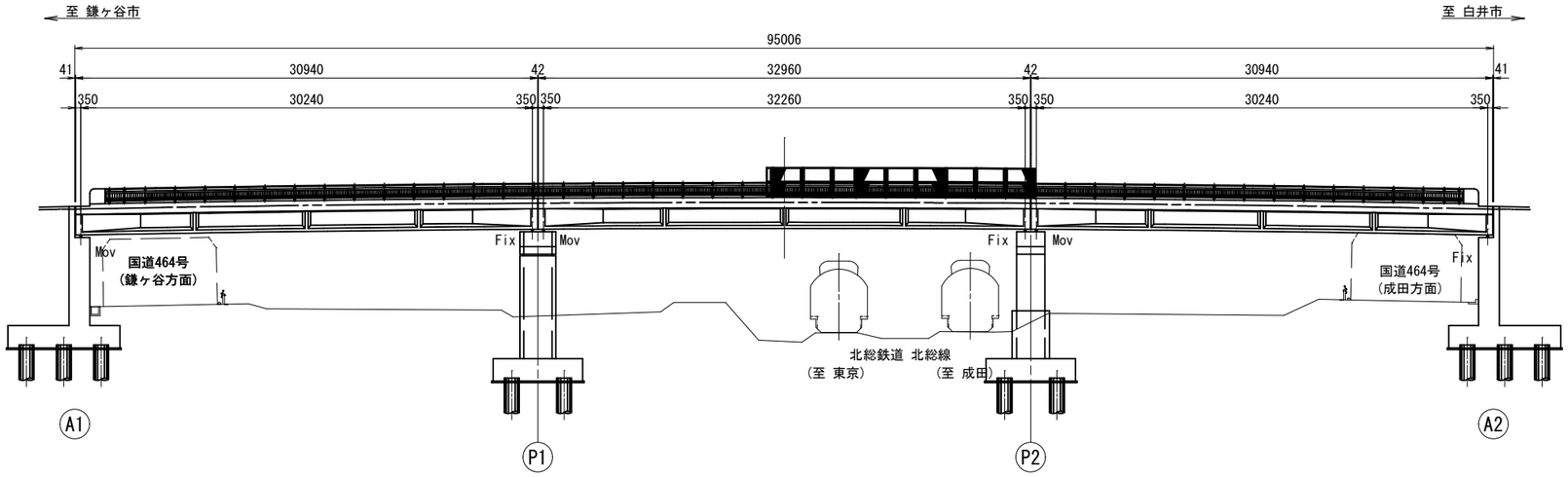


縮尺　1：2500

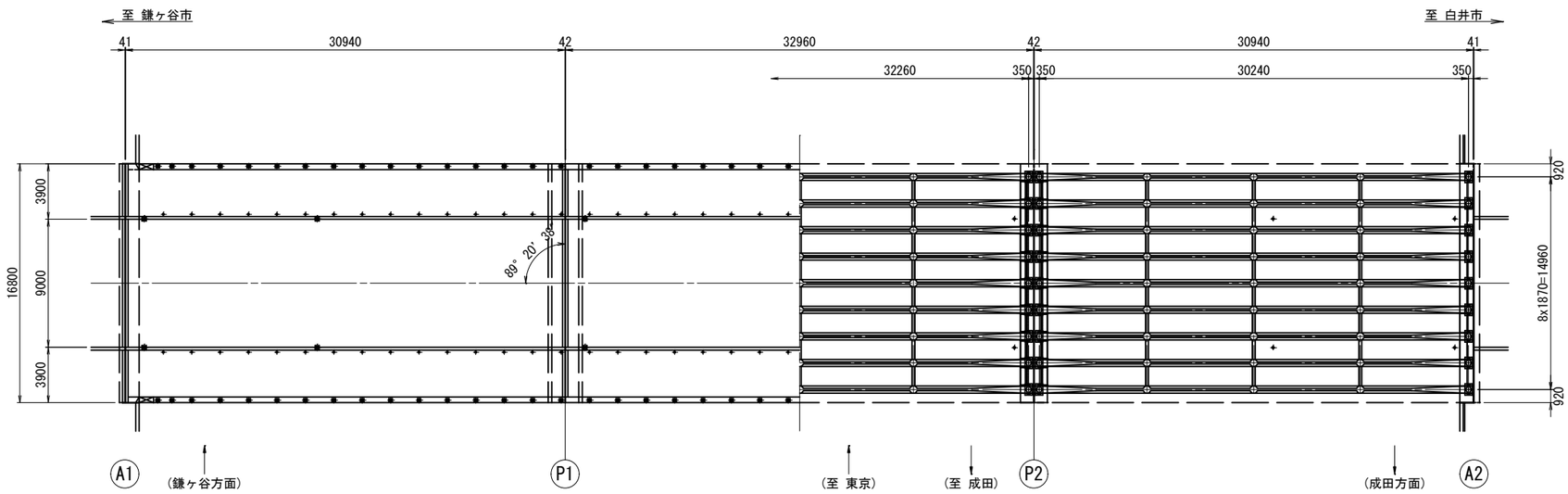
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事(R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	位置図・案内図		
図面番号	全２０葉之内第　１　号		
縮　　尺	図　　示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課長		設計者氏名	

橋 梁 一 般 図

側 面 図 S=1:200

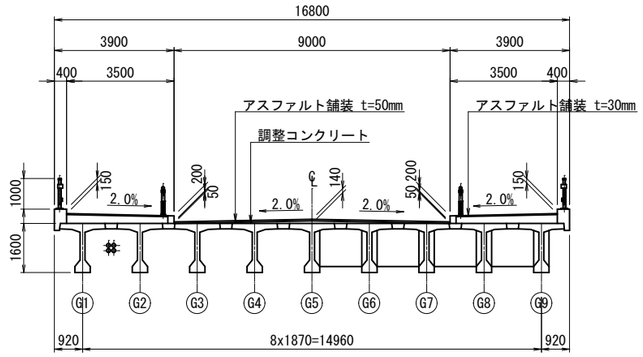


平 面 図 S=1:200



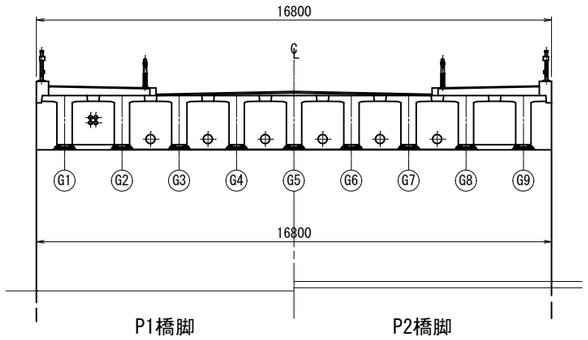
断 面 図 S=1:100

標準部

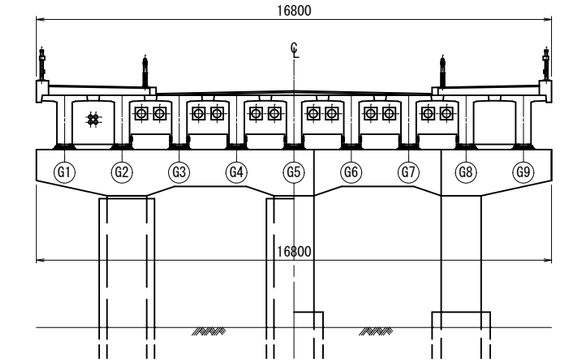


中間横桁部

A1橋台　　A2橋台



P1橋脚　　P2橋脚

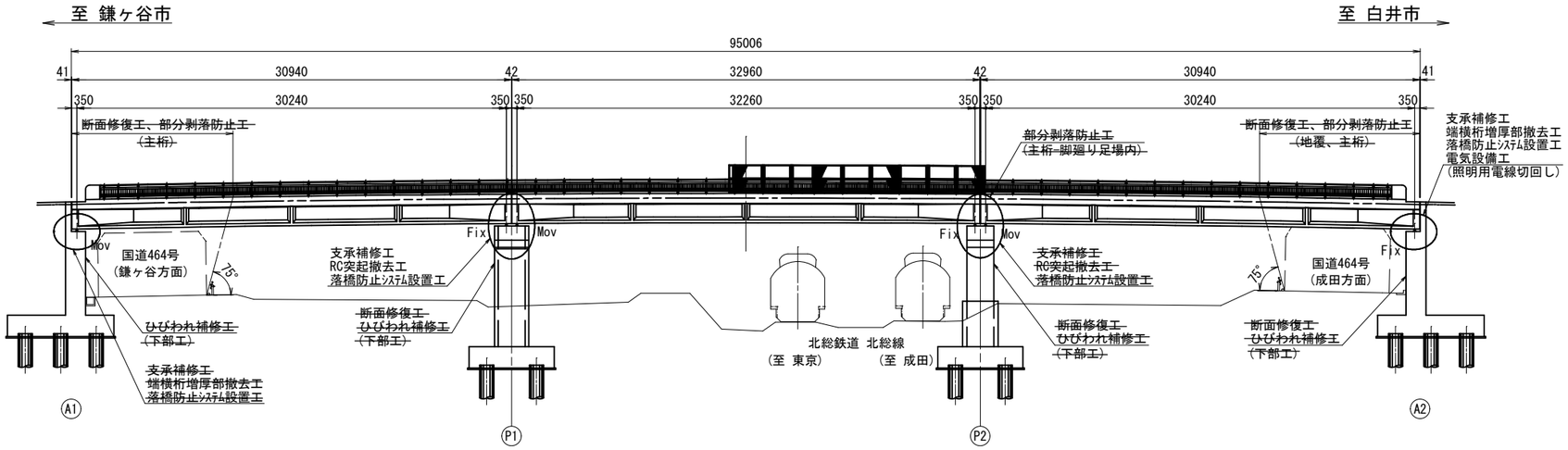


〈107A橋〉

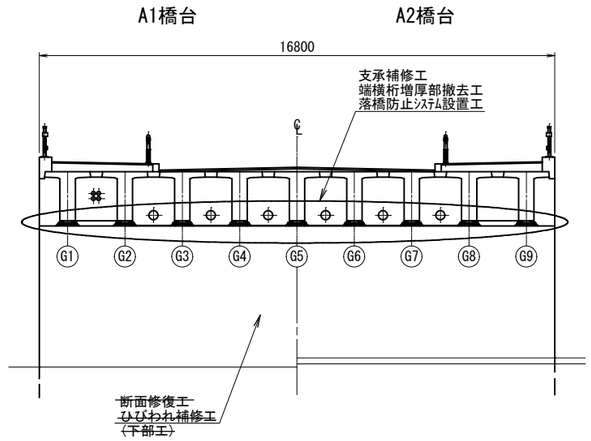
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事（R8）		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	橋梁一般図		
図面番号	全２０葉之内 ２ 号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

補 修 一 般 図

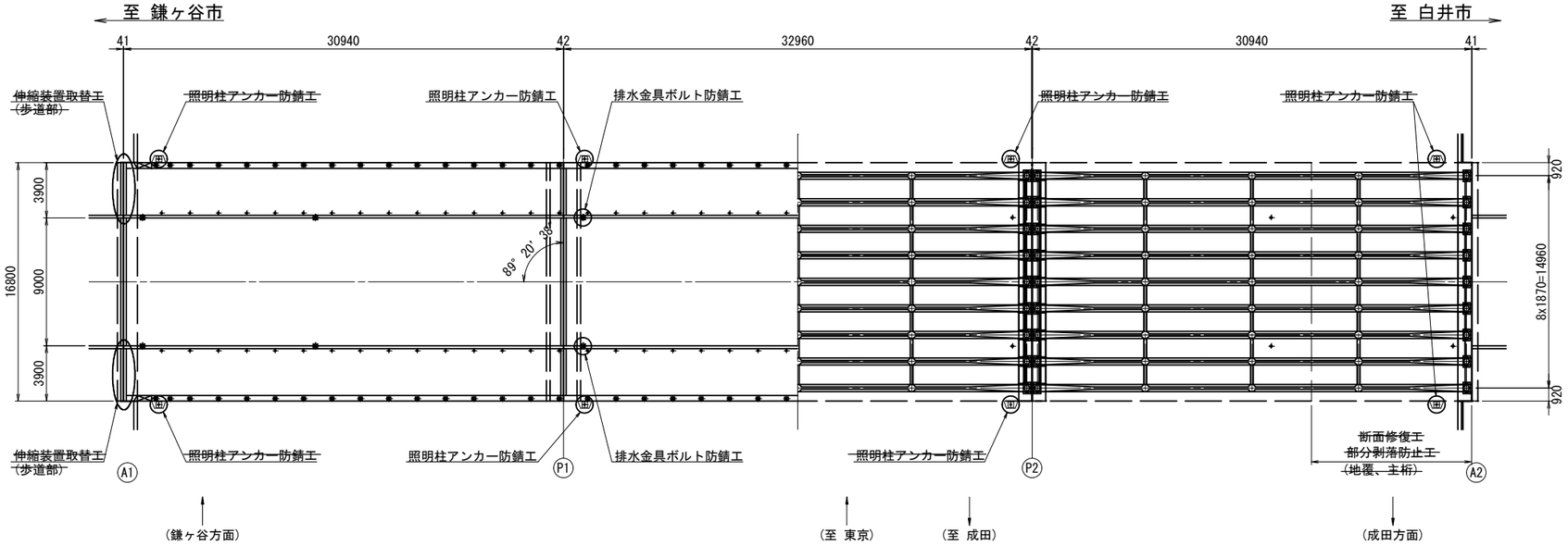
側 面 図 S=1:200



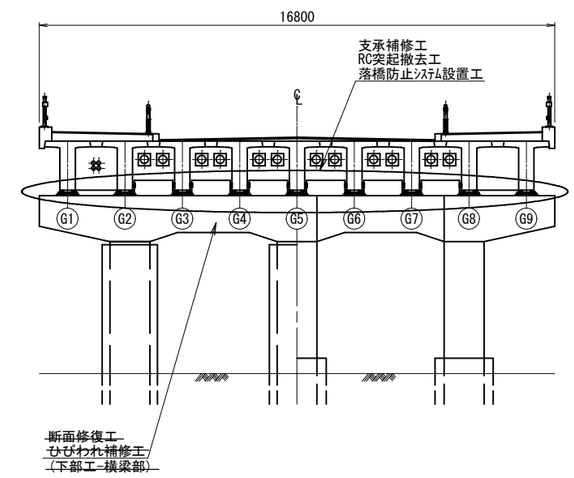
断 面 図 S=1:100



平 面 図 S=1:200



P1橋脚　P2橋脚



補修項目一覧表

補修工種		適用箇所
伸縮装置取替工		A1歩道部
断面修復工		地覆、主桁、下部工
ひびわれ補修工		下部工
部分剥落防止工		跨道部、跨線部
照明柱アンカー防錆工		P1
排水金具ボルト防錆工		P1
支承補修工	支承防錆工	P1,A2支承部
	沓座補修工	
端横桁増厚部撤去工		A2橋台部
RC突起撤去工		P1橋脚部
落橋防止システム設置工		P1,A2各支点部

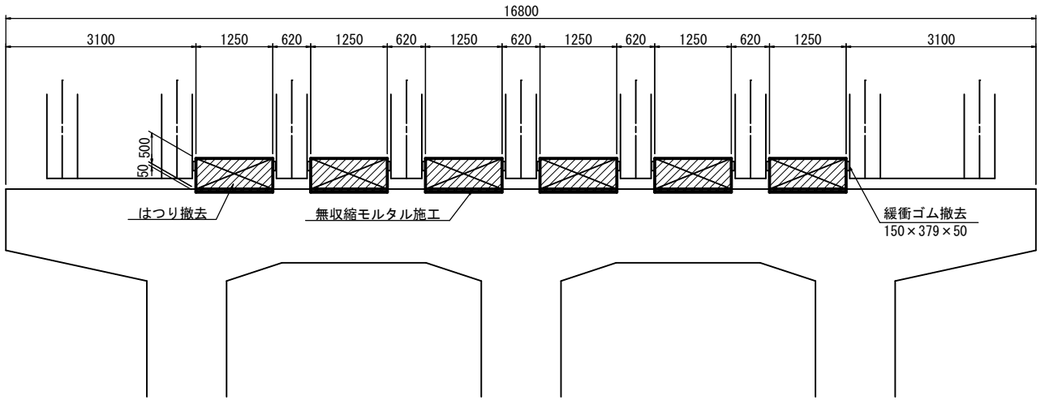
〈107A橋〉

令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事（R8）
工事箇所	白井市復地先
図面種別	補修一般図
図面番号	全２０葉之内 ３ 号
縮 尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課 長	設計者氏名

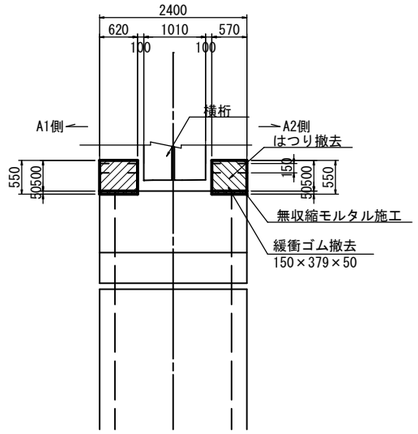
P1橋脚　既設撤去図 S=1:50

橋脚部

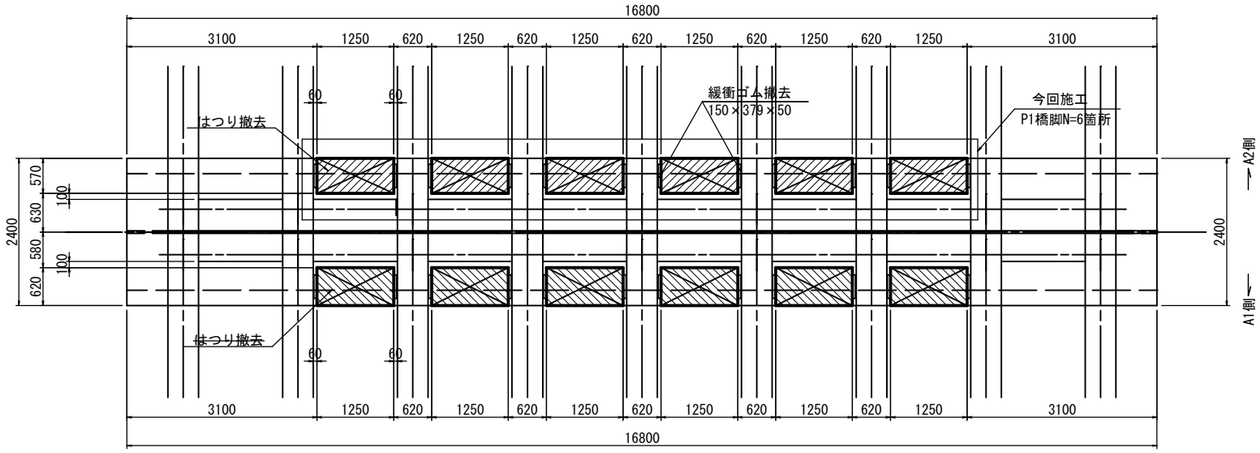
正面図



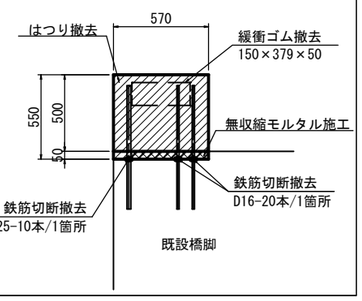
断面図



平面図



撤去詳細図



注記：
・施工時には、主桁、下部工等の現地寸法の確認、鉄筋位置の確認等を行う。

〈107A橋〉

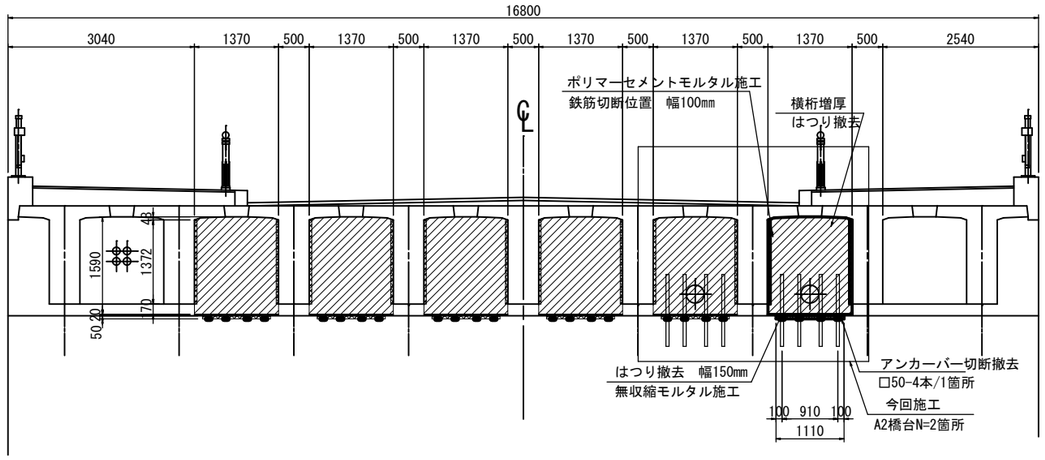
令和8年度			
路線番号	橋梁修繕工事（R8）		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	P1橋脚既設撤去図		
図面番号	全２０葉之内 ４ 号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

A2橋台　既設撤去図

S=1:50

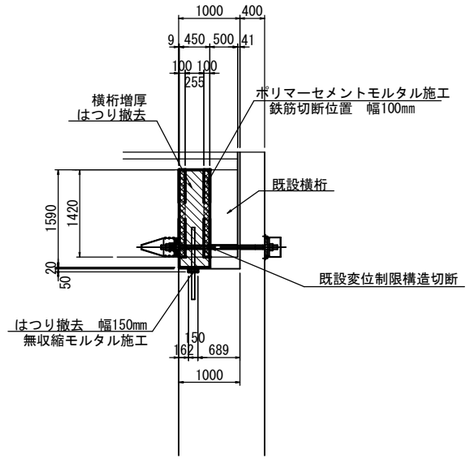
橋台部

正面図

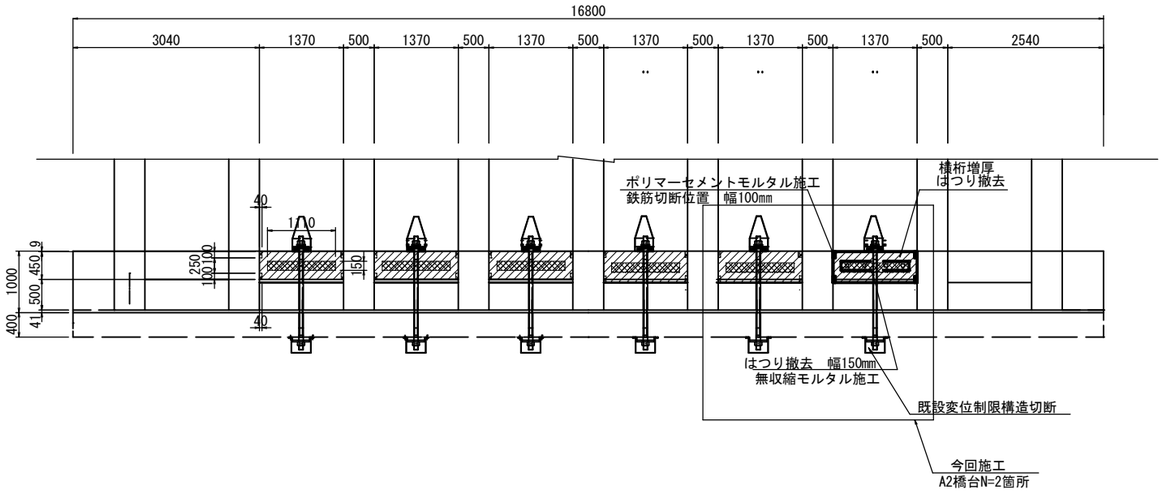


断面図

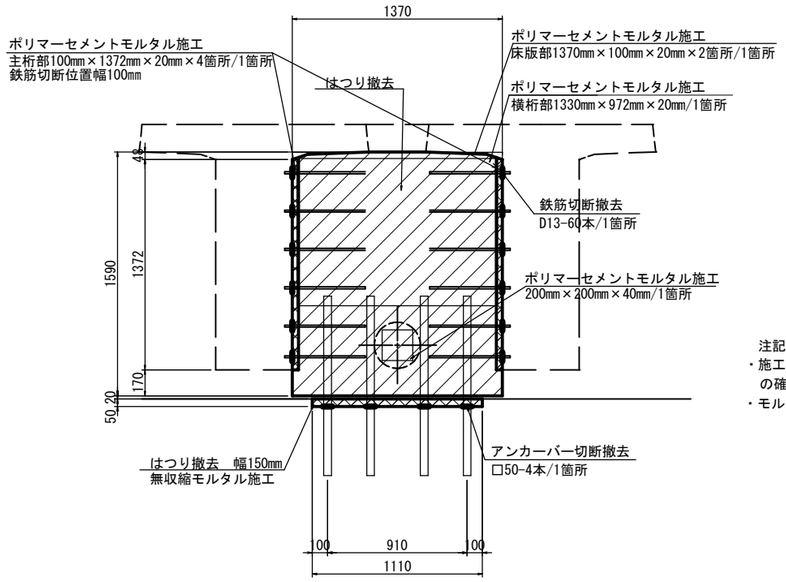
A2橋台



平面図



撤去詳細図



注記：
- 施工時には、主桁、下部工等の現地寸法の確認、鉄筋位置の確認等を行うこと。
- モルタル打設前に既設鉄筋に防錆材の塗布を行うこと。

〈107A橋〉

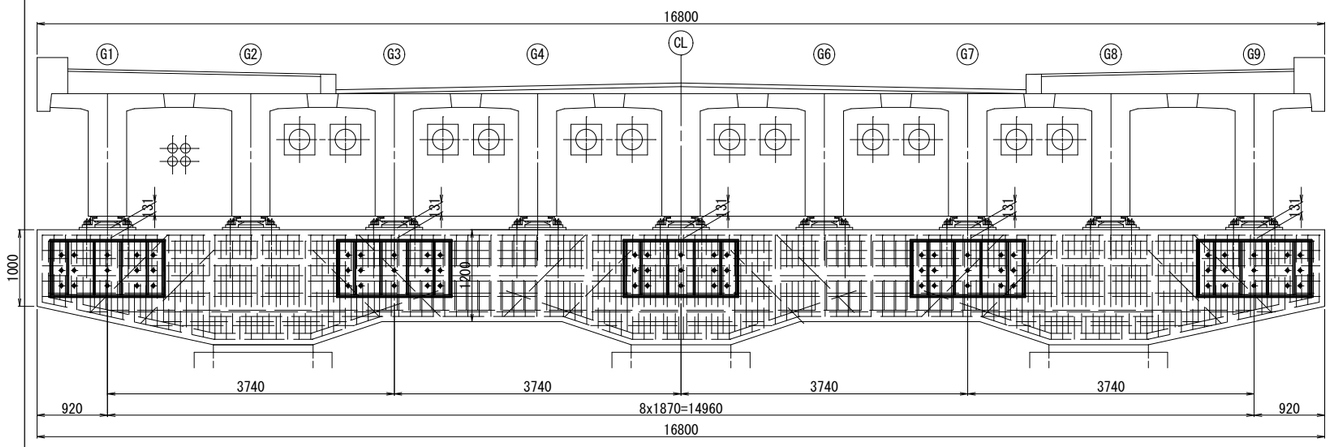
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事（R8）
工事箇所	白井市復地先
図面種別	A2橋台既設撤去図
図面番号	全２０葉之内 ５ 号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

P1橋脚落橋防止システム図(その1)　S=1:40

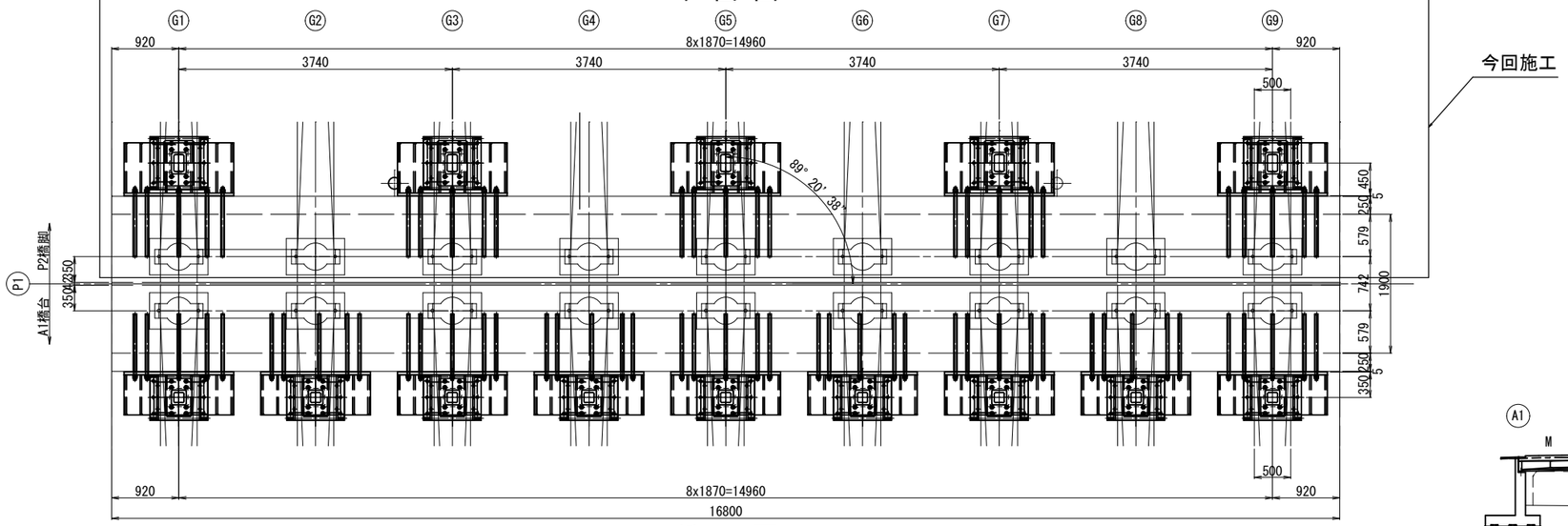
P1橋脚:取付図

断 面 図

P2橋脚側

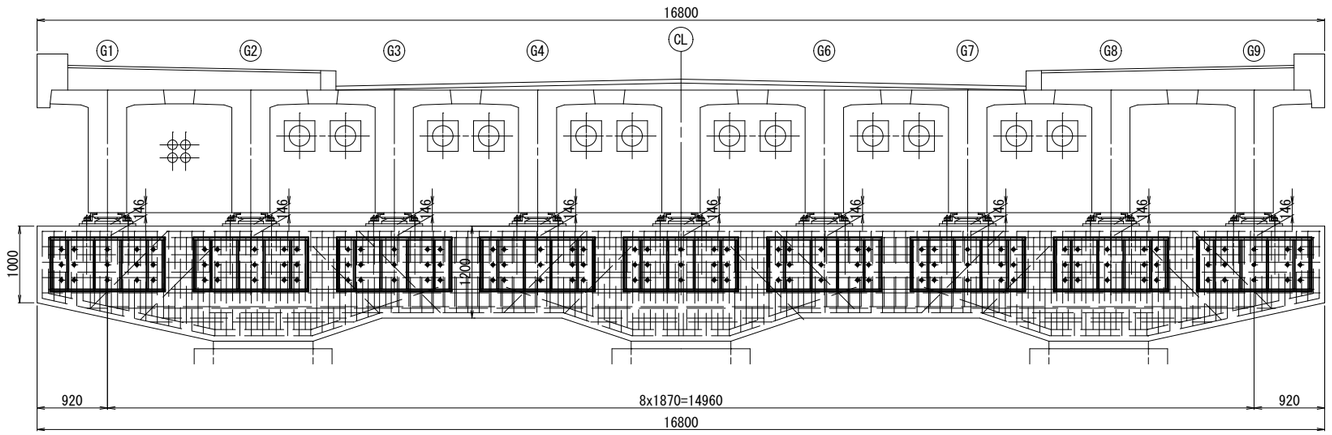


平 面 図

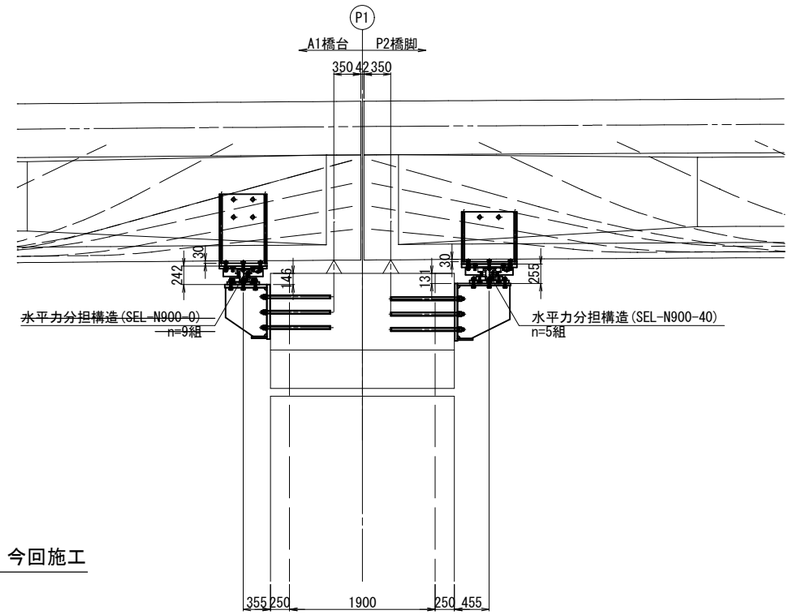


断 面 図

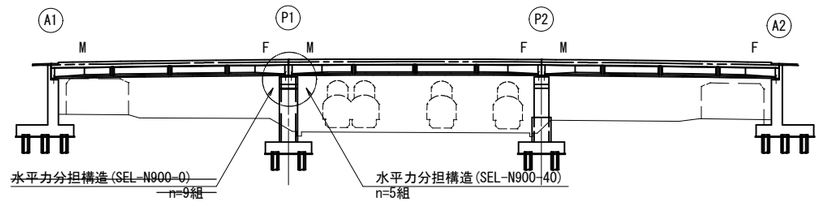
A1橋台側



側 面 図



位 置 図



注記)

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査及び既設支承アンカー確認を実施し、既設鉄筋及び既設支承アンカーは、切断しないこと。
   また、既設鉄筋及び既設支承アンカーと干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
3. 既設コンクリート面は下地処理を実施すること。

<107A橋>

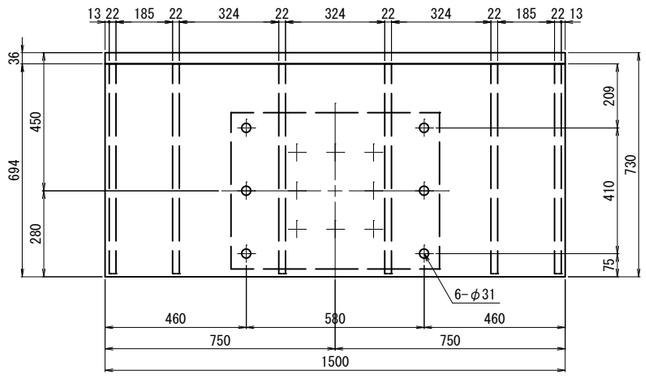
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)
工事箇所	白井市復地先
図面種別	P1橋脚落橋防止システム図(その1)
図面番号	全２０葉之内 ６ 号
縮 尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課 長	設計者氏名

P1橋脚落橋防止システム図(その2)　S=1:10

P1橋脚(終点側):水平力分担構造 取付金物詳細図(1)

下部工ブラケット詳細図

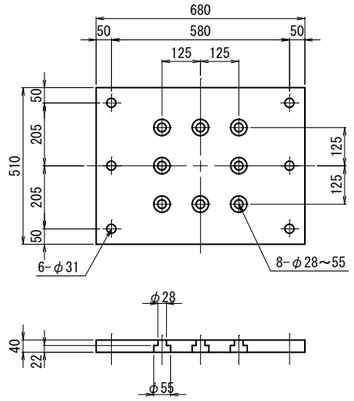
1 － 1



ブラケット1基当り (製作数:5基)

1-PL　750x36x1500(SM400B)
1-PL　694x28x1500
1-PL　200x22x1500
6-PL　684x22x690

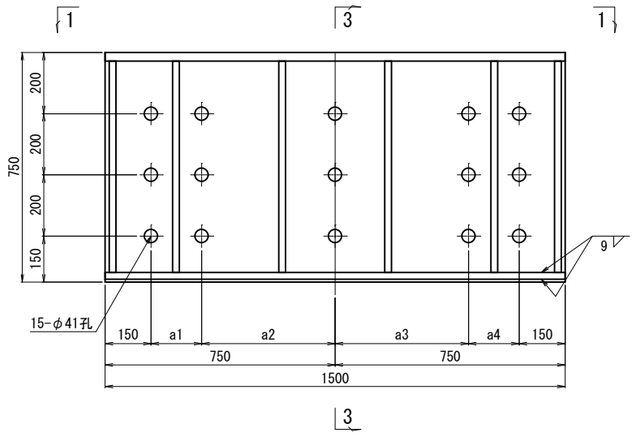
下部工取付プレート



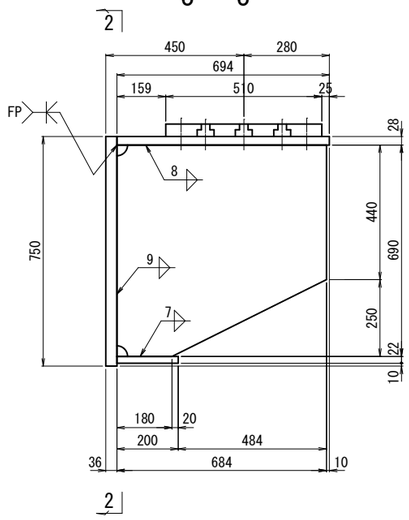
ブラケット1基当り (製作数:5基)

1-PL 510x40x680(SM490B)
6-六角Bolt　M27x120 (強度区分8.8)
[1-N,2-W,1SW]

2 － 2



3 － 3

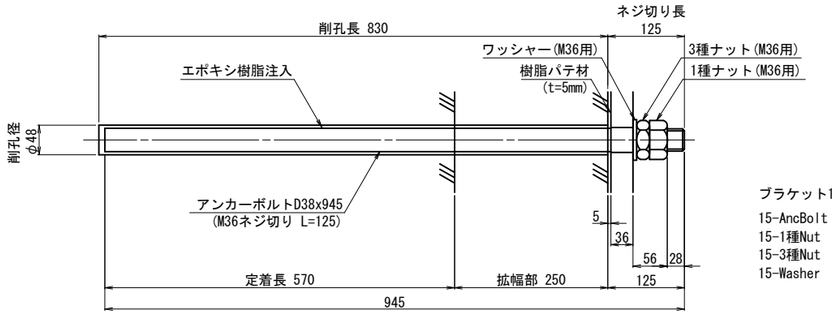


寸 法 表

	a1	a2	a3	a4
G1	215	385	435	165
G3 G5 G7	165	435	435	165
G9	165	435	385	215

アンカーボルト詳細図　S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



ブラケット1基当り (製作数:5基)

15-AncBolt D38x945 (SD345)
15-1種Nut　M36用 (SS400)
15-3種Nut　M36用 (SS400)
15-Washer　M36用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

〈107A橋〉

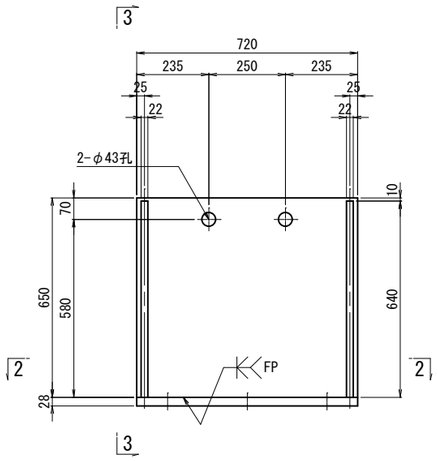
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	P1橋脚落橋防止システム図(その2)		
図面番号	全２０葉之内 7 号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

P1橋脚落橋防止システム図(その3)　S=1:10

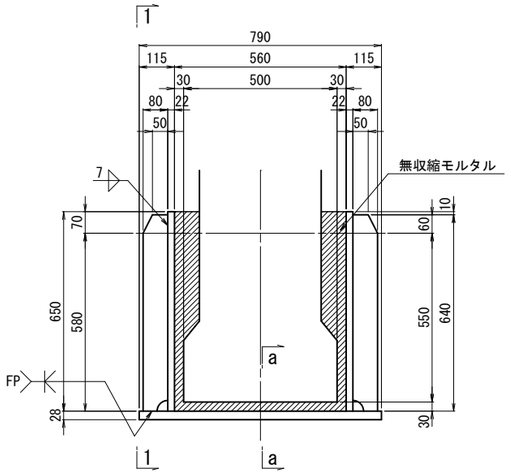
P1橋脚(終点側):水平力分担構造 取付金物詳細図(2)

上部工ブラケット詳細図

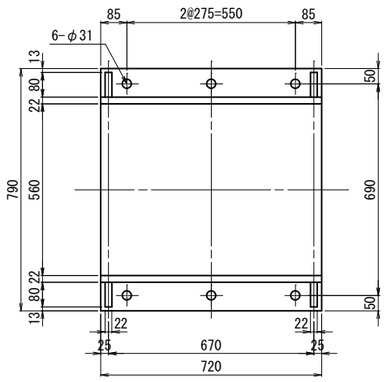
1 － 1



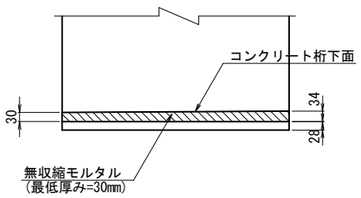
3 － 3



2 － 2



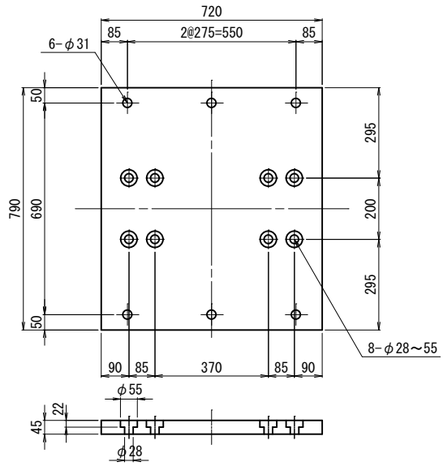
a － a



ブラケット1基当り (製作数:5基)

1-PL　790x28x720
2-PL　650x22x720
4-PL　80x22x640

上部工取付プレート

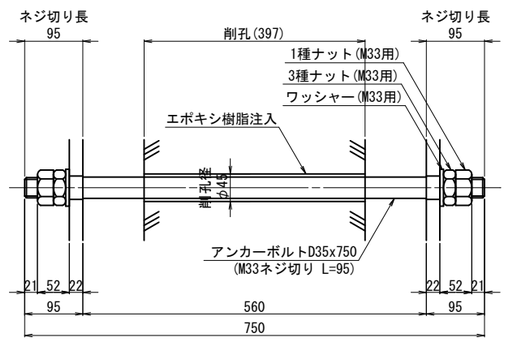


ブラケット1基当り (製作数:5基)

1-PL 790x45x720 (SS400)
6-六角Bolt　M27x120 (強度区分8.8)
[1-N,2-W,1SW]

アンカーボルト詳細図　S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



ブラケット1基当り (製作数:5基)

2-AncBolt D35x750 (SD345)
4-1種Nut　M33用 (SS400)
4-3種Nut　M33用 (SS400)
4-Washer　M33用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

〈107A橋〉

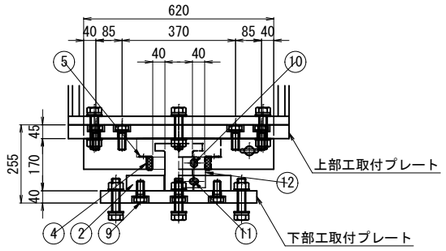
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	P1橋脚落橋防止システム図(その3)		
図面番号	全２０葉之内 ８ 号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

P1橋脚落橋防止システム図(その4)　S=1:10

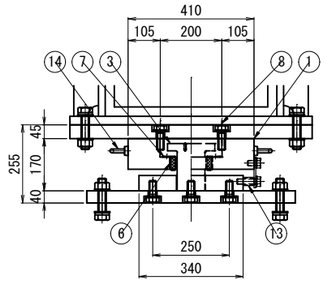
P1橋脚(終点側):水平力分担構造 取付詳細図及び部品図

取付詳細図

橋軸方向



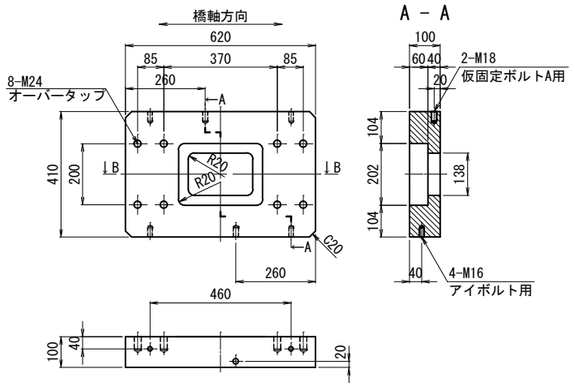
橋軸直角方向



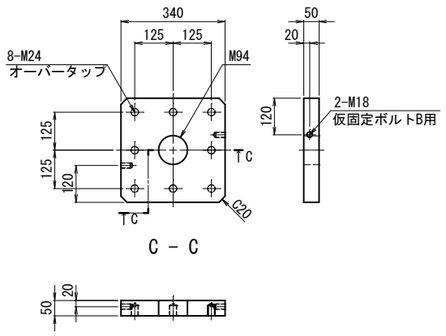
材 料 表(SEリミッター1基当たり)　全5基

部番	名　称	規　格	単位	数量	摘　要
1	ソールプレート	SEL-N900-40	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N900用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N900用	本	1	SCM435:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファーA	SEL-N900用	個	2	クロロプレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N900用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N900用	個	2	クロロプレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N900用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M24x65　1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M24x55　1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M18x30 1W付	組	2	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x65 1W付	組	2	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N900用	個	2	SS400:電気めっき
13	スペーサー	SEL-N900用	個	2	SGP20A:溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

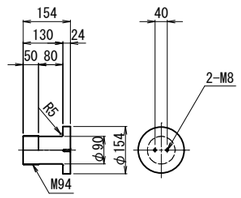
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



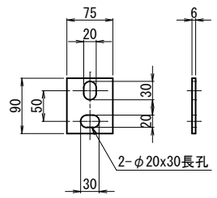
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



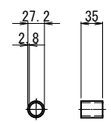
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



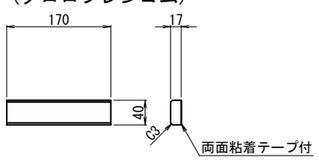
⑫ 仮固定プレート　S=1:5
(SS400:電気めっき)



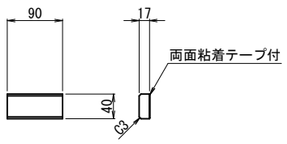
⑬ スペーサー　S=1:5
(SGP20A:溶融亜鉛めっき)



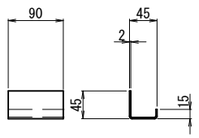
⑥ バッファーB　S=1:5
(クロロプレンゴム)



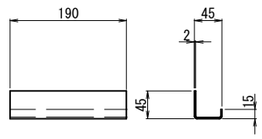
④ バッファーA　S=1:5
(クロロプレンゴム)



⑤ バッファーガイドA　S=1:5
(SUS)



⑦ バッファーガイドB　S=1:5
(SUS)



注記)
1. SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

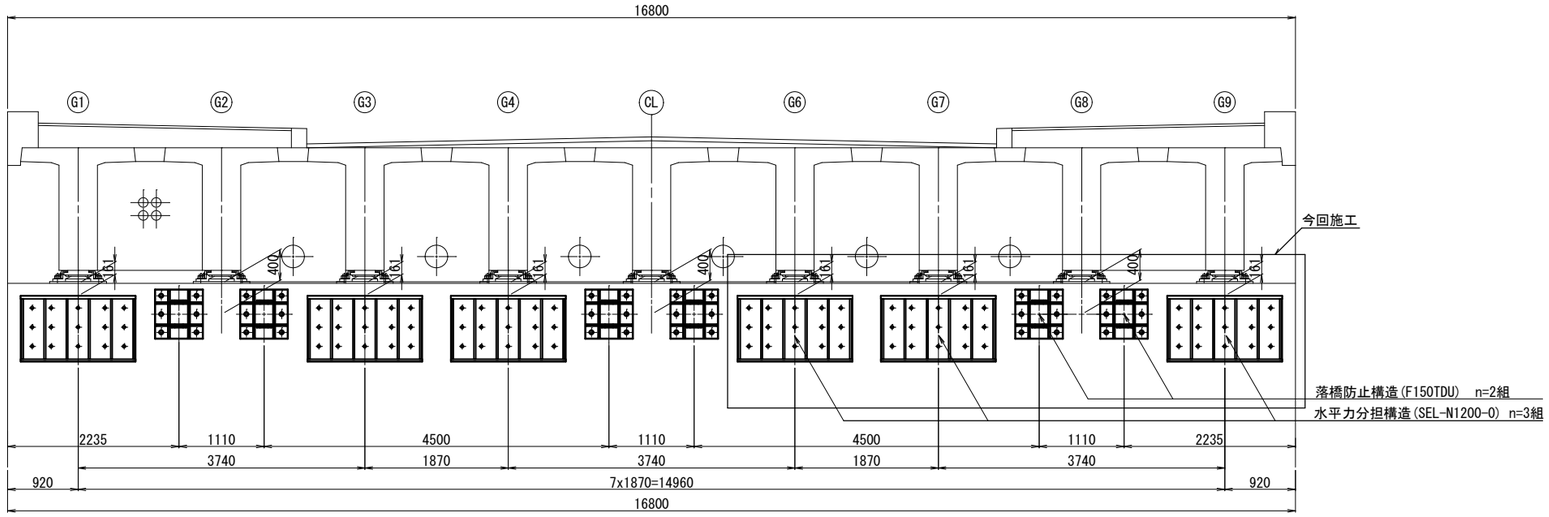
<107A橋>

令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事（R8）
工事箇所	白井市復地先
図面種別	P1橋脚落橋防止システム図(その4)
図面番号	全２０葉之内 ９ 号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

A2橋台落橋防止システム図(その1)　S=1:40

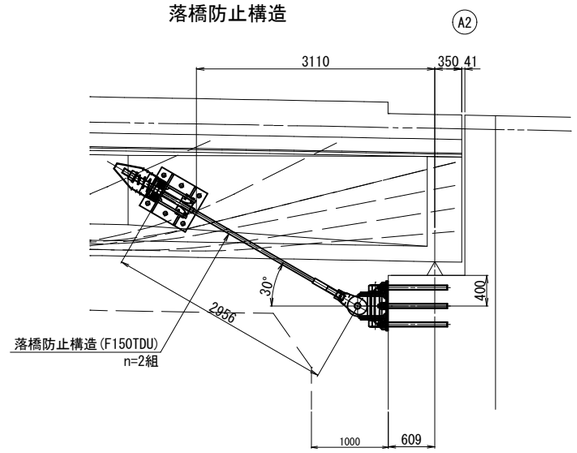
A2橋台:取付図

断 面 図

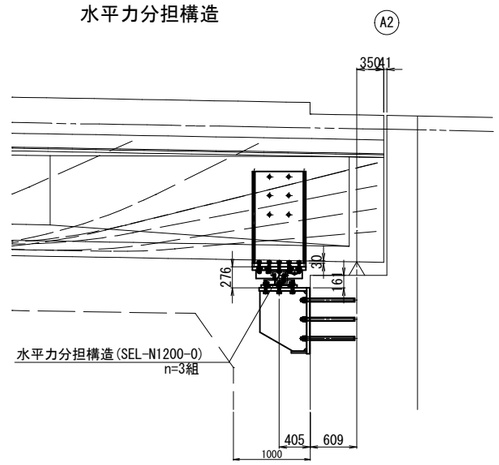


側 面 図

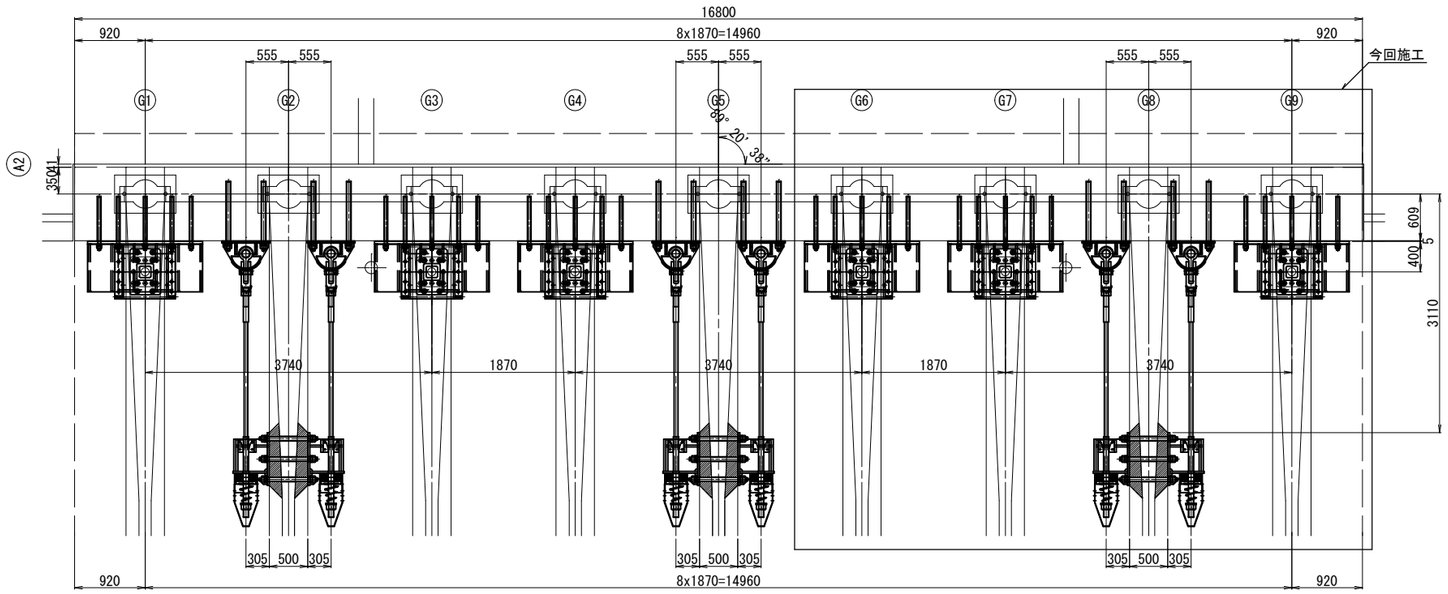
落橋防止構造



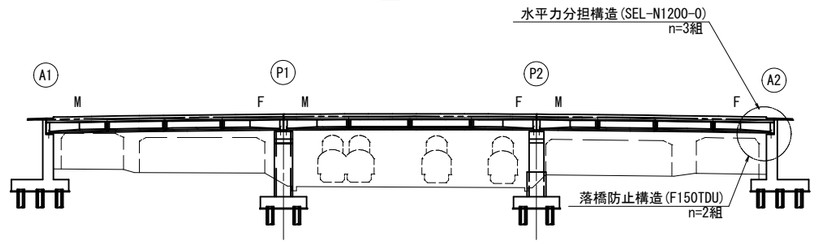
水平力分担構造



平 面 図



位 置 図



<107A橋>

注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査及び既設支承アンカー確認を実施し、既設鉄筋及び既設支承アンカーは、切断しないこと。
また、既設鉄筋及び既設支承アンカーと干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
3. 既設コンクリート面は下地処理を実施すること。

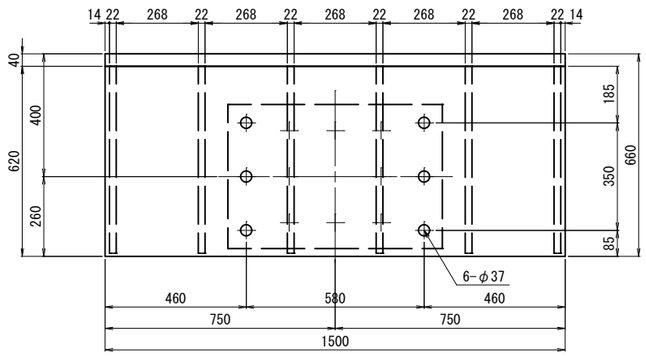
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その1)		
図面番号	全２０葉之内１０号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

A2橋台落橋防止システム図(その2)　S=1:10

A2橋台:水平力分担構造 取付金物詳細図(1)

下部工ブラケット詳細図

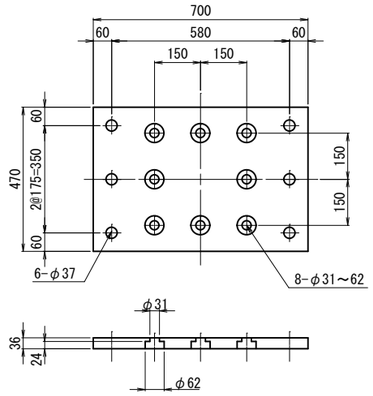
1 － 1



ブラケット1基当り (製作数:3基)

1-PL　860x40x1500 (SM400B)
1-PL　620x40x1500 (SM400B)
1-PL　200x22x1500
6-PL　610x22x788

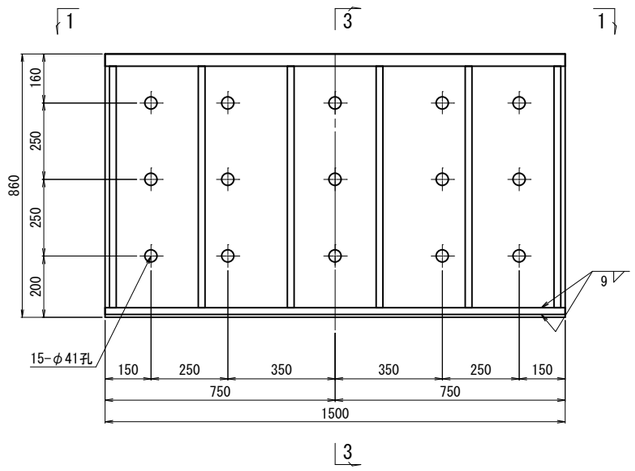
下部工取付プレート



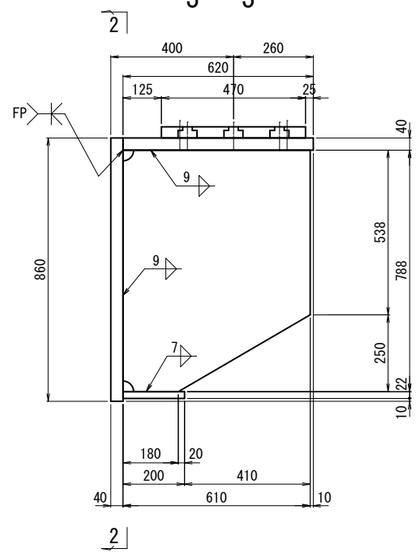
ブラケット1基当り (製作数:3基)

1-PL 470x36x700(SM490B)
6-六角Bolt　M33x140 (強度区分8.8)
[1-N,2-W,1SW]

2 － 2

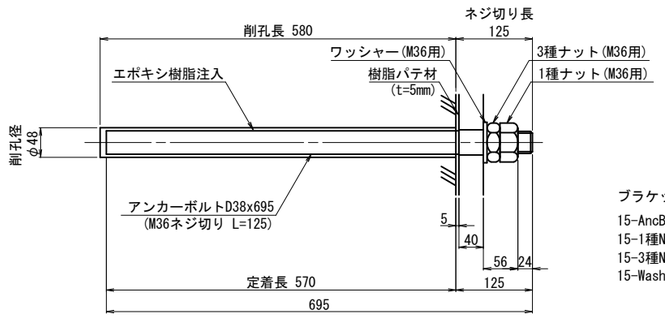


3 － 3



アンカーボルト詳細図　S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



ブラケット1基当り (製作数:3基)

15-AncBolt D38x695 (SD345)
15-1種Nut　M36用 (SS400)
15-3種Nut　M36用 (SS400)
15-Washer　M36用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

〈107A橋〉

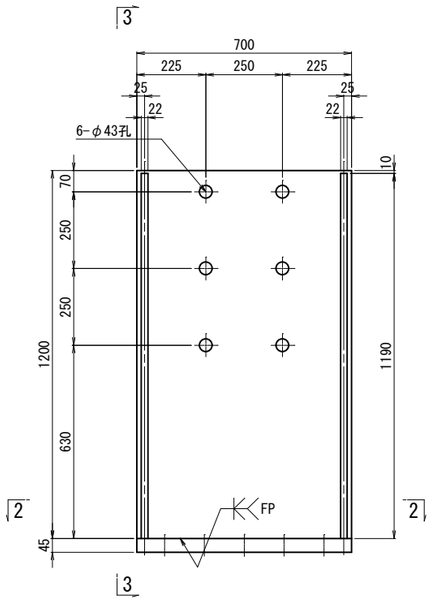
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その2)		
図面番号	全２０葉之内１１号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

A2橋台落橋防止システム図(その3)　S=1:10

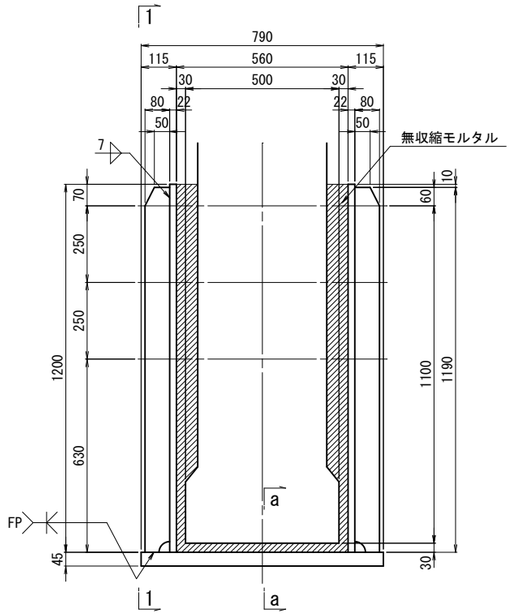
A2橋台:水平力分担構造 取付金物詳細図(2)

上部工ブラケット詳細図

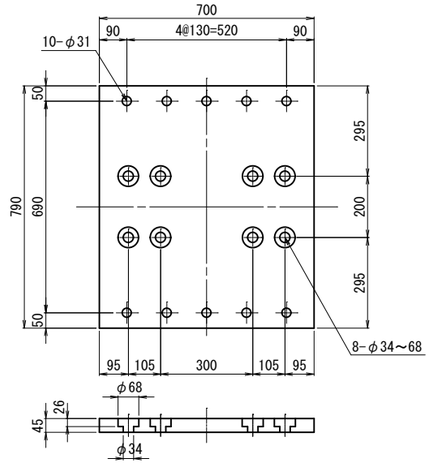
1 － 1



3 － 3



上部工取付プレート

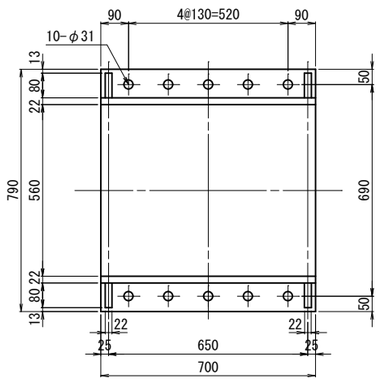


ブラケット1基当り (製作数:3基)
1-PL 790x45x700 (SS400)
10-六角Bolt M27x140 (強度区分8.8)
[1-N,2-W,1SW]

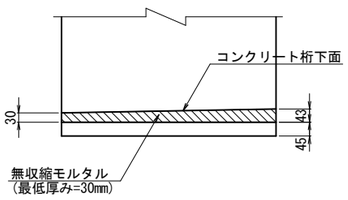
アンカーボルト詳細図　S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

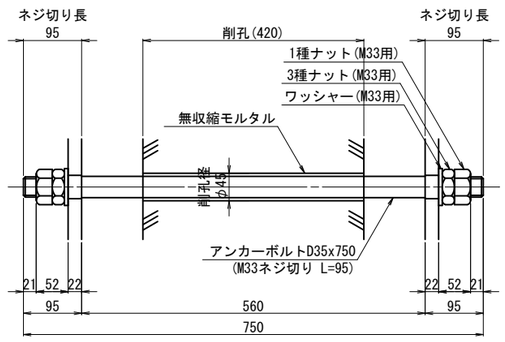
2 － 2



a － a



ブラケット1基当り (製作数:3基)
1-PL 790x45x700 (SM400C)
2-PL 1200x22x700
4-PL 80x22x1190



ブラケット1基当り (製作数:3基)
6-AncBolt D35x750 (SD345)
12-1種Nut M33用 (SS400)
12-3種Nut M33用 (SS400)
12-Washer M33用 (SS400)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

〈107A橋〉

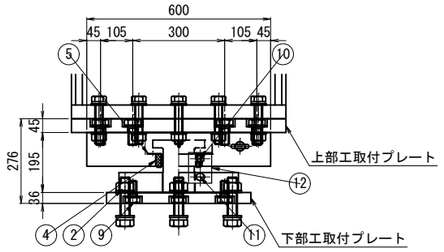
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)
工事箇所	白井市復地先
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その3)
図面番号	全２０葉之内１２号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

A2橋台落橋防止システム図(その4)　S=1:10

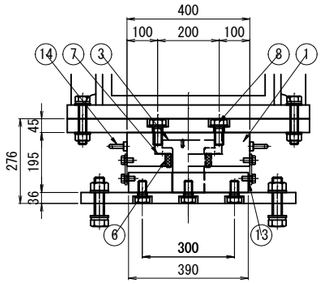
A2橋台:水平力分担構造 取付詳細図及び部品図

取付詳細図

橋軸方向



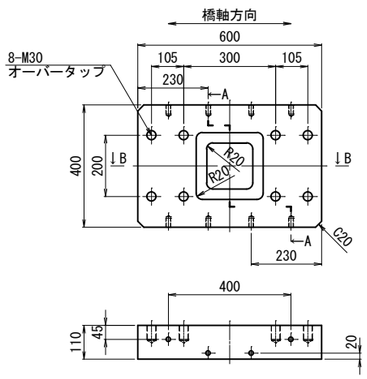
橋軸直角方向



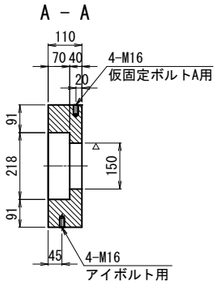
材 料 表(水平力分担構造1基当たり)　　全3基

部番	名　　称	規　　格	単位	数量	摘　　要
1	ソールプレート	SEL-N1200-0	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N1200用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N1200用	本	1	SCM435:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファーA	SEL-N1200用	個	2	クロロプレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N1200用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N1200用	個	2	クロロプレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N1200用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M30x65　1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M27x55　1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x35 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N1200用	個	4	SS400:電気めっき
13	スペーサー	SEL-N1200用	個	4	SS400相当品:溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

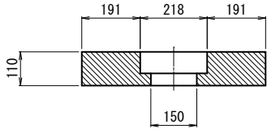
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



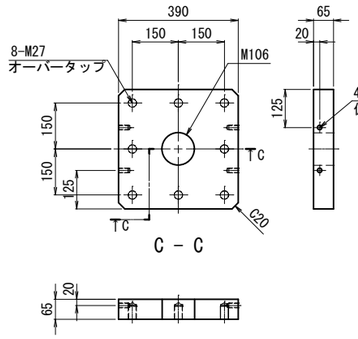
A － A



B － B

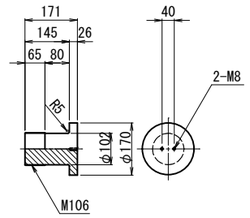


② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)

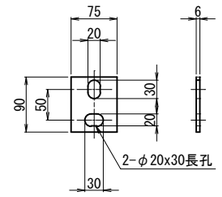


C － C

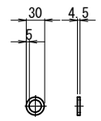
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



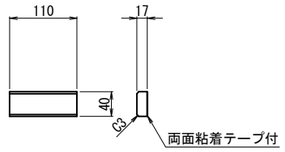
⑫ 仮固定プレート　S=1:5
(SS400:電気めっき)



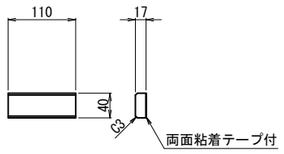
⑬ スペーサー　S=1:5
(SS400相当品:溶融亜鉛めっき)



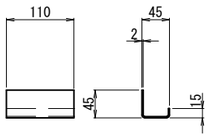
⑥ バッファーB　S=1:5
(クロロプレンゴム)



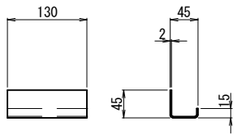
④ バッファーA　S=1:5
(クロロプレンゴム)



⑤ バッファーガイドA　S=1:5
(SUS)



⑦ バッファーガイドB　S=1:5
(SUS)



注記)
1. 水平力分担構造の納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

<107A橋>

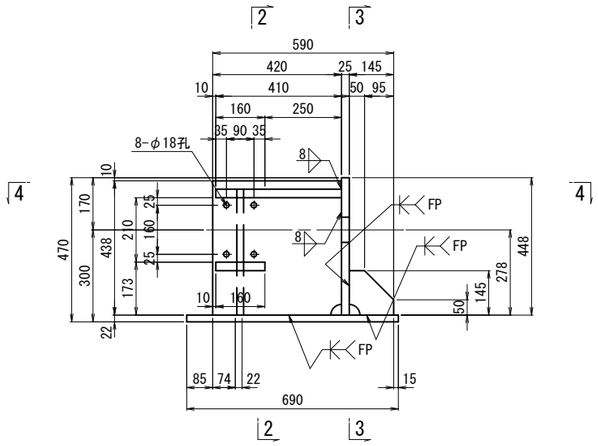
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事（R8）
工事箇所	白井市復地先
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その4)
図面番号	全２０葉之内１３号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

A2橋台落橋防止システム図(その5)　S=1:10

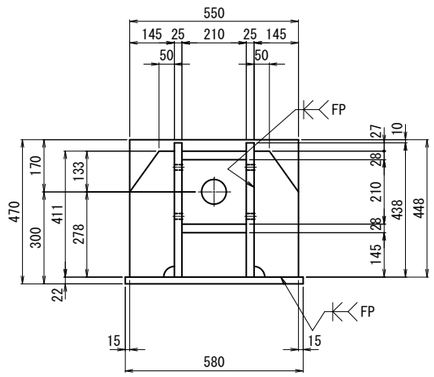
A2橋台:落橋防止構造 上部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

1 － 1

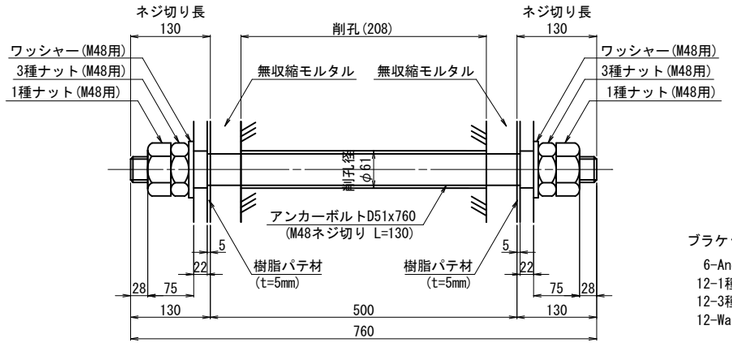


2 － 2



アンカーボルト詳細図　S=1:5

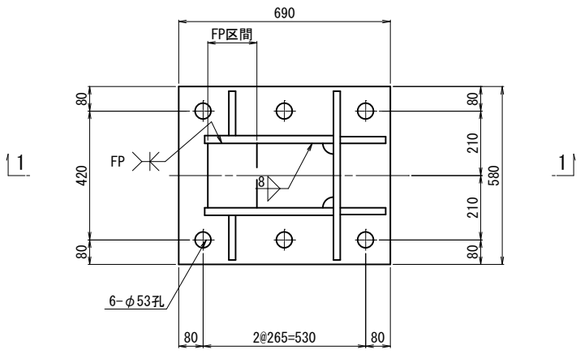
※アンカーボルトはネジ切部のみ溶融亜鉛メッキを施すものとする。



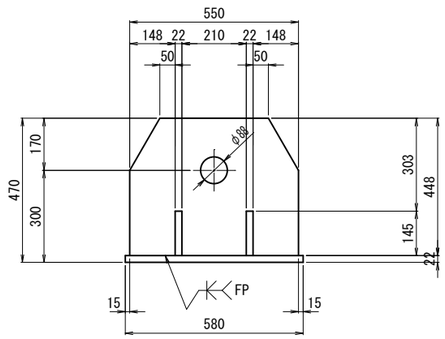
ブラケット2基当り(製作数:1組)

6-Anc Bolt D51x760(SD345)
12-1種 Nut　M48用 (SS400)
12-3種 Nut　M48用 (SS400)
12-Washer　M48用 (SS400)

4 － 4



3 － 3



ブラケット1基当り(製作数:2基)

2-PL 145x22x145
2-PL 420x25x470
2-PL 145x22x411
1-PL 210x28x410
1-PL 160x28x210
1-PL 550x25x448
1-PL 580x22x690

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は，溶融亜鉛めっきを施すものとする。
   付着量は，JIS H8641 HDZ55とする。
   ただし，ボルト･ナット類はHDZ35とする。
4. 工場製作は，現場実測確認のうえ行うものとする。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査及び既設支承アンカー確認を実施し、既設鉄筋及び既設支承アンカーは、切断しないこと。
   また、既設鉄筋及び既設支承アンカーと干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

〈107A橋〉

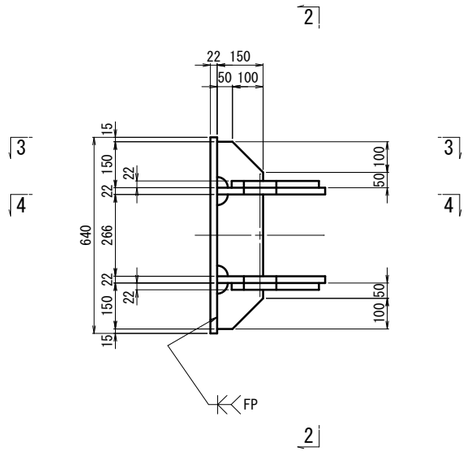
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)
工事箇所	白井市復地先
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その5)
図面番号	全２０葉之内１４号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

A2橋台落橋防止システム図(その6) S=1:10

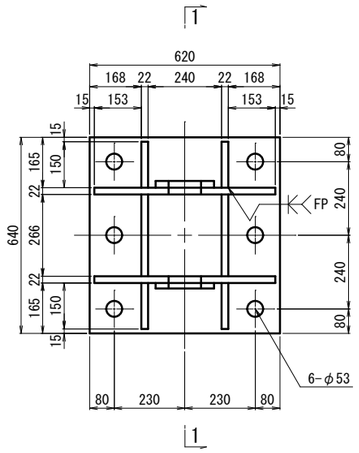
A2橋台:落橋防止構造 下部エブラケット詳細図

ブラケット詳細図

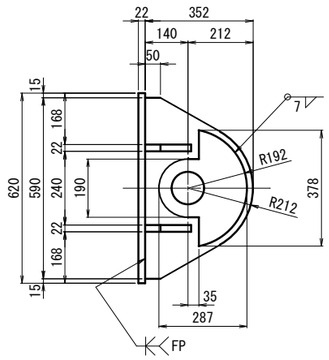
1 － 1



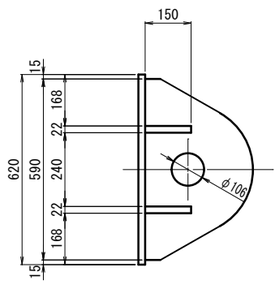
2 － 2



3 － 3



4 － 4

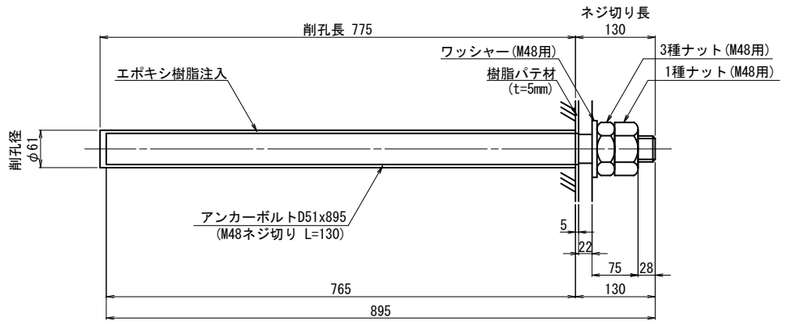


ブラケット1基当り(製作数:2基)

2-PL 287x22x378
2-PL 352x22x590
4-PL 150x22x150
2-PL 150x22x266
1-PL 620x22x640
6-Anc Bolt D51x895(SD345)
6-1種 Nut M48用 (SS400)
6-3種 Nut M48用 (SS400)
6-Washer M48用 (SS400)

アンカーボルト詳細図 S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査及び既設支承アンカー確認を実施し、既設鉄筋及び既設支承アンカーは、切断しないこと。
また、既設鉄筋及び既設支承アンカーと干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

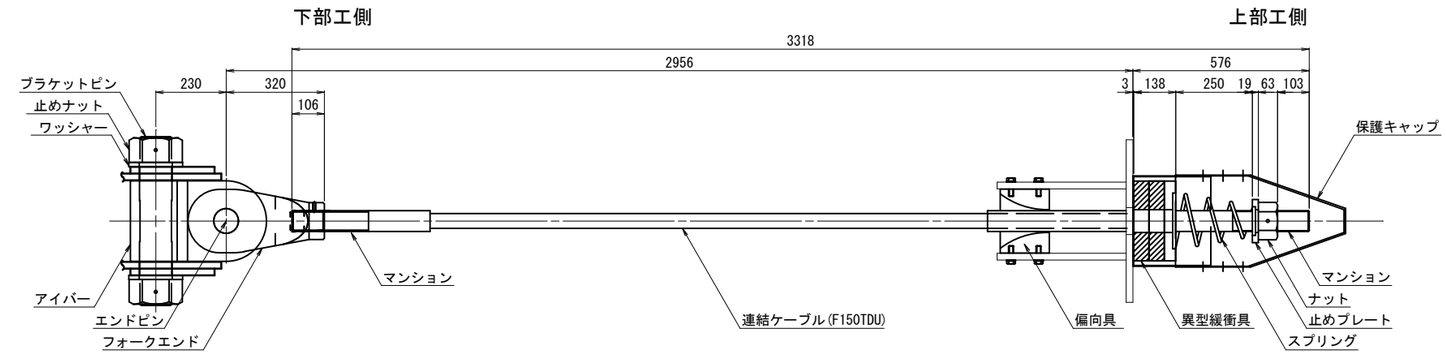
<107A橋>

令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)
工事箇所	白井市復地先
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その6)
図面番号	全２０葉之内１５号
縮 尺	図 示
白井市役所 都市建設部 道路課	
課 長	設計者氏名

A2橋台落橋防止システム図(その7)　S=1:10

A2橋台:落橋防止構造 取付詳細図及び部品図

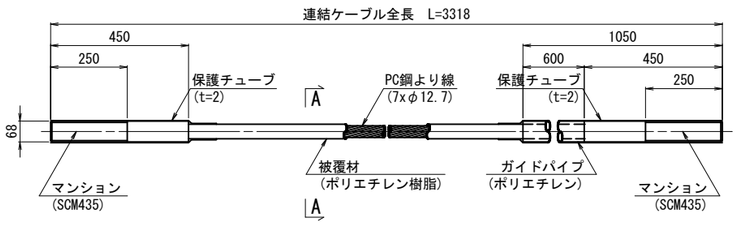
取付詳細図



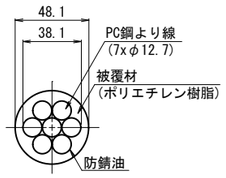
材 料 表（落橋防止構造1組当たり）　全4組

名　称		規　格	単位	数量	摘　要
連結ケーブル		F150TDU L=3318mm	本	1	PC鋼より線,ポリエチレン被覆
	(マンション)	F150TD用 標準	個	2	SCM435,ネジきり標準 〈ケーブルに組込〉
	(ガイドパイプ)	F150TD用 600mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット		F150TD用	個	1	S45C:亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート		F150TD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング		F150TD用 L=400	個	1	SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理
異型緩衝具		F150TD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
偏向具		F150TD用	個	1	ポリエチレン
	(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ		F150TD用	組	1	ポリエチレン:8-止めビス付　半割保護キャップ
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	F150TDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	止めナット	F150TDU用	個	2	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	ワッシャー	F150TDU用	個	2	SS400,亜鉛めっき(HDZ55)
	アイバー	F150TDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	フォークエンド	F150TDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	エンドピン　(ピン)	F150TDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	(止めプレート)	F150TDU用	個	1	SS400,亜鉛めっき

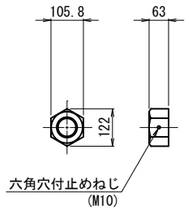
連結ケーブル



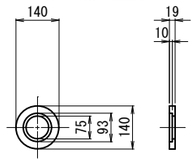
A-A断面図　S=1:2



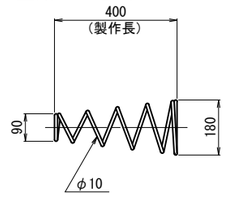
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



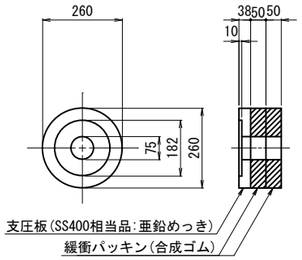
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



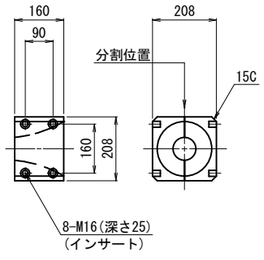
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



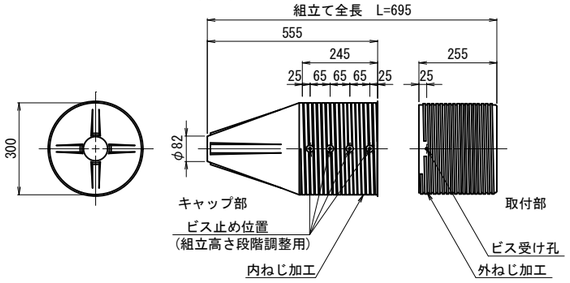
異型緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



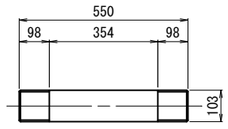
偏 向 具
(ポリエチレン)



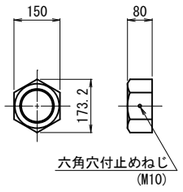
保護キャップ（半割保護キャップ）
(ポリエチレン)



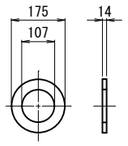
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



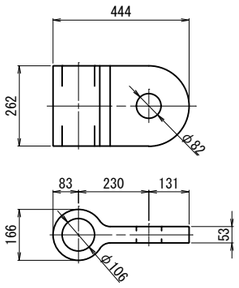
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



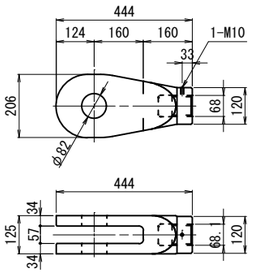
ワッシャー
(SS400:亜鉛めっき)



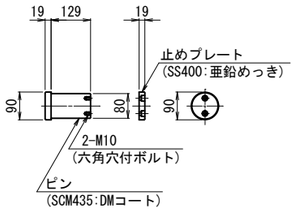
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



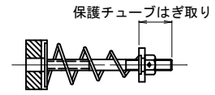
フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)



マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

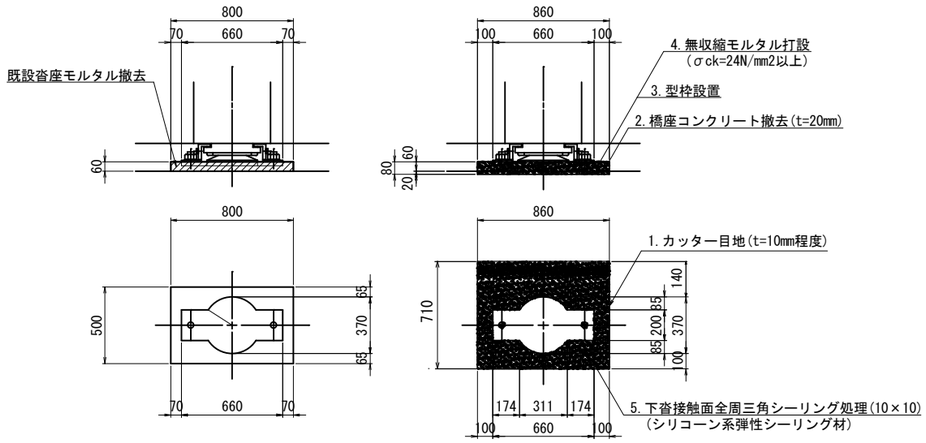
〈107A橋〉

令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	A2橋台落橋防止システム図(その7)		
図面番号	全２０葉之内１６号		
縮　尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課　長		設計者氏名	

支承補修図

沓座補修工 S=1:20

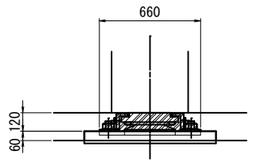
現　況　　補修後



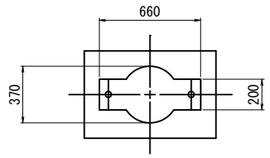
＜沓座補修工＞
・対象基数　　：13基（A2：4基　P1：9基）

支承防錆工範囲図 S=1:20

正面図



平面図



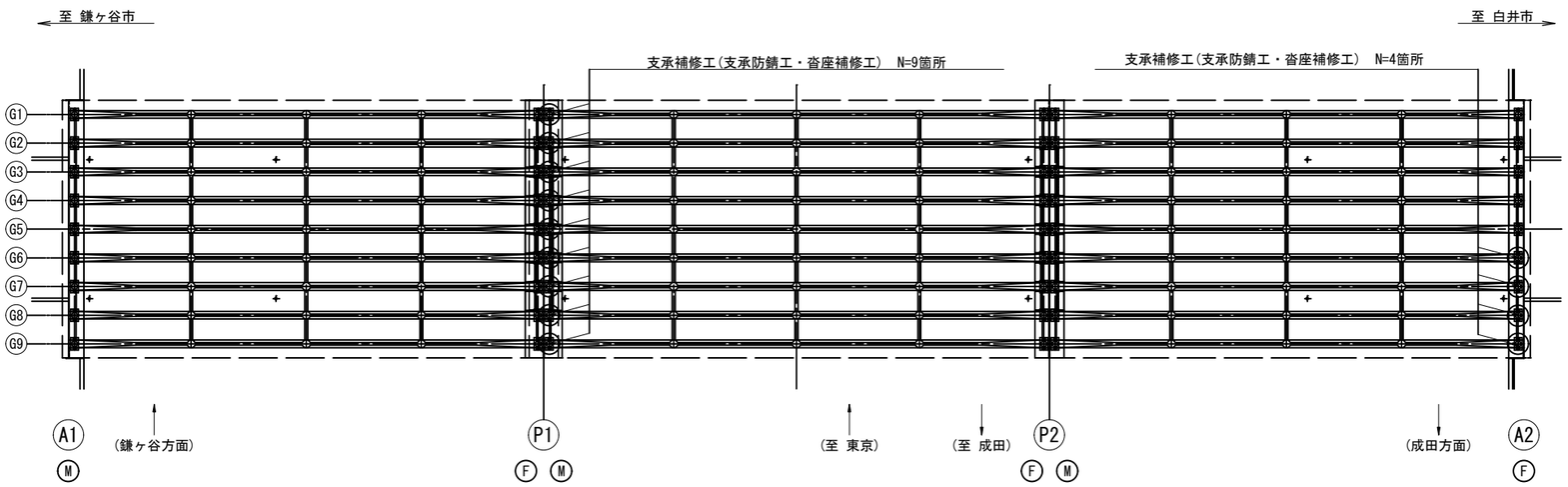
＜支承本体諸元＞
・支承種類　　：高力黄銅支承板支承(BP-A)
・推定反力タイプ：75t(750kN)
・対象基数　　：13基（A2：4基　P1：9基）

※　1.上図ハッチングは、支承防錆範囲を示す。
　　2.支承防錆工は、既設沓座モルタル撤去後に実施のこと。

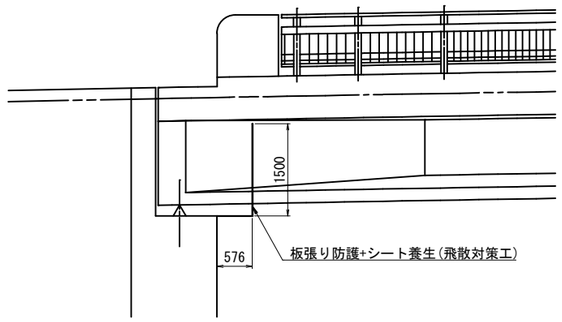
支承防錆工施工フロー
＜金属溶射＞

前工程	足場架設、現地調査、清掃、飛散養生等を行う。
潤滑性防錆剤注入	支承滑り面に、潤滑性防錆剤(二硫化モリブデン溶液)を注入する。
素地調整	支承表面に、銅スラグ研掃材によるブラスト処理を行う(表面粗さ Rz50S 以上推奨)。
金属溶射	支承表面に、ガス溶線式による金属溶射(最低被膜厚 100μm)を行う。
塗装	支承表面に、エポキシ系浸透性保護材(平均塗膜厚 80μm)をエアレス塗装する。
後工程	清掃、後片付け、足場撤去等を行う。

平 面 図 S=1：200



橋台周り板張り養生工図 S=1:50



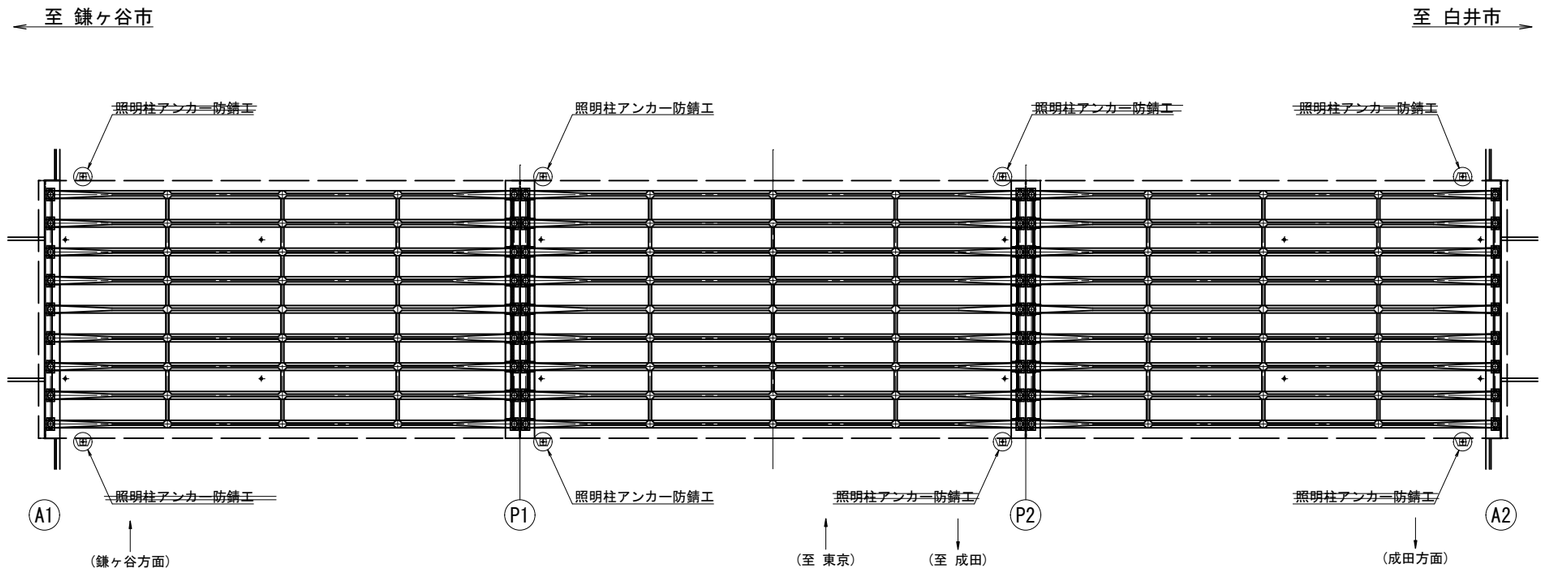
注記）1.補修工事に先立って、必ず現地計測を行い
　　補修数量と現地状況を確認すること。併せて
　　監督職員の了解を得た上で施工を行うこと

〈107A橋〉

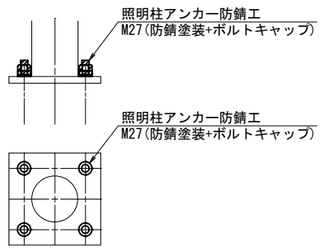
令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事（R8）
工事箇所	白井市復地先
図面種別	支承補修図
図面番号	全２０葉之内１７号
縮　尺	図 示
白井市役所　都市建設部　道路課	
課　長	設計者氏名

照明柱アンカーボルト防錆図

平 面 図 S=1:200

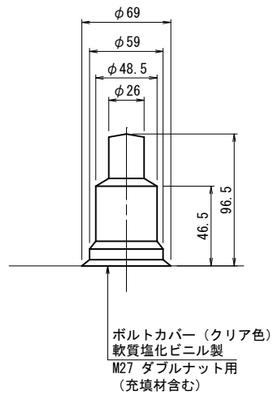


照明柱アンカー防錆工要領図 S=1:10



ボルトキャップ詳細図 S=1:2

N=8



常温亜鉛メッキ塗装仕様（参考）

塗装工程	塗料名	実塗布量（g/m2） はけ	塗装間隔
素地調整	2種(手工具、動力工具：ISO St2)	—	2時間以内
1層目	常温亜鉛メッキ塗装	300	硬化乾燥後 (15℃で約2h)
2層目	常温亜鉛メッキ塗装	300	

・ハケ塗りとし、実塗布量は20%のロスを見込んでいる。
・汚れ、付着物、油類は除去すること。
・素地調整は可能な限り実施することとし、旧塗膜、赤錆は除去すること。
・必ず塗料メーカーの施工要領を確認のうえで施工を行うこと。

塗装面積

	算出式	面積(m2)
M27ナット部	6.17(m2/1000本)/2×8(本)=0.025(m2)	0.03
	合 計	0.03

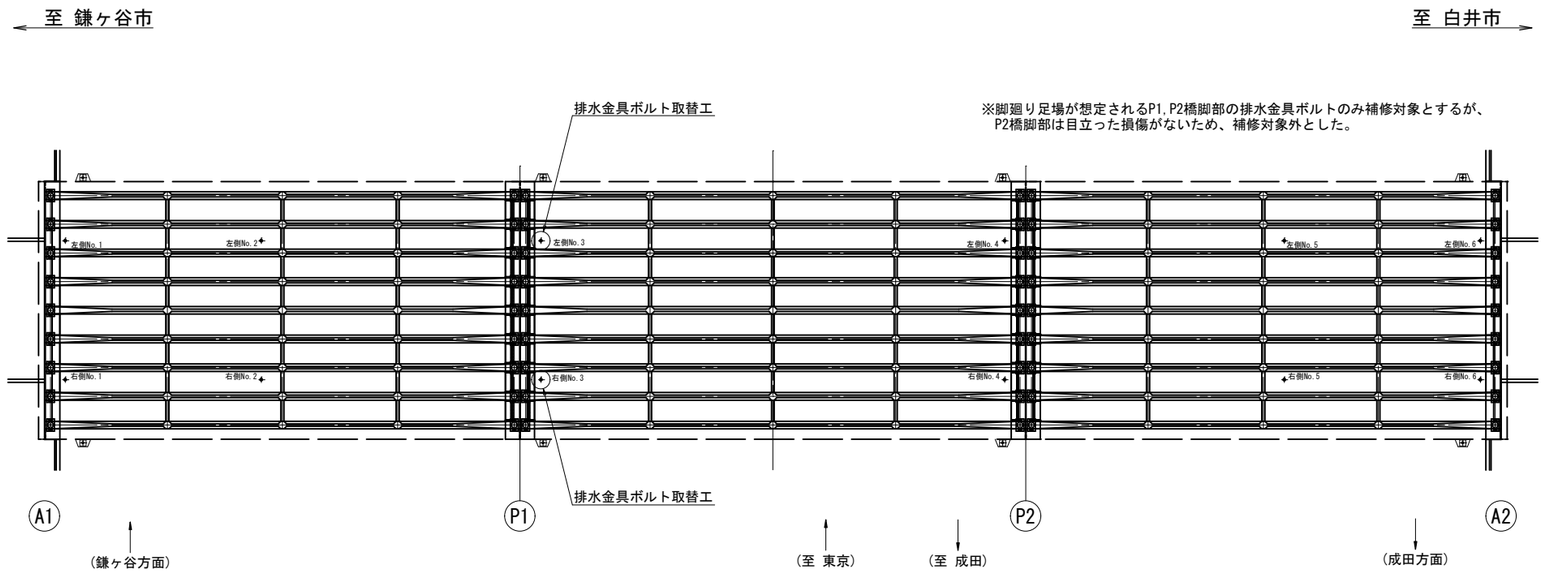
注記）
1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

<107A橋>

令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事（R8）		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	照明柱アンカーボルト防錆図		
図面番号	全２０葉之内１８号		
縮 尺	図 示		
白井市役所　都市建設部　道路課			
課 長		設計者氏名	

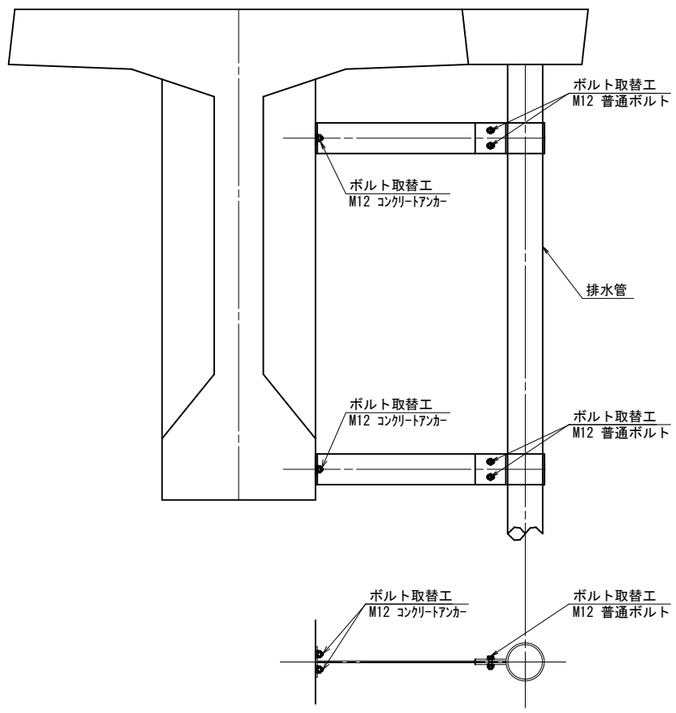
排水装置補修図

平 面 図 S=1:200



排水金具ボルト取替工要領図 S=1:10

(1箇所当り取替工本数:8本、2箇所計:16本)



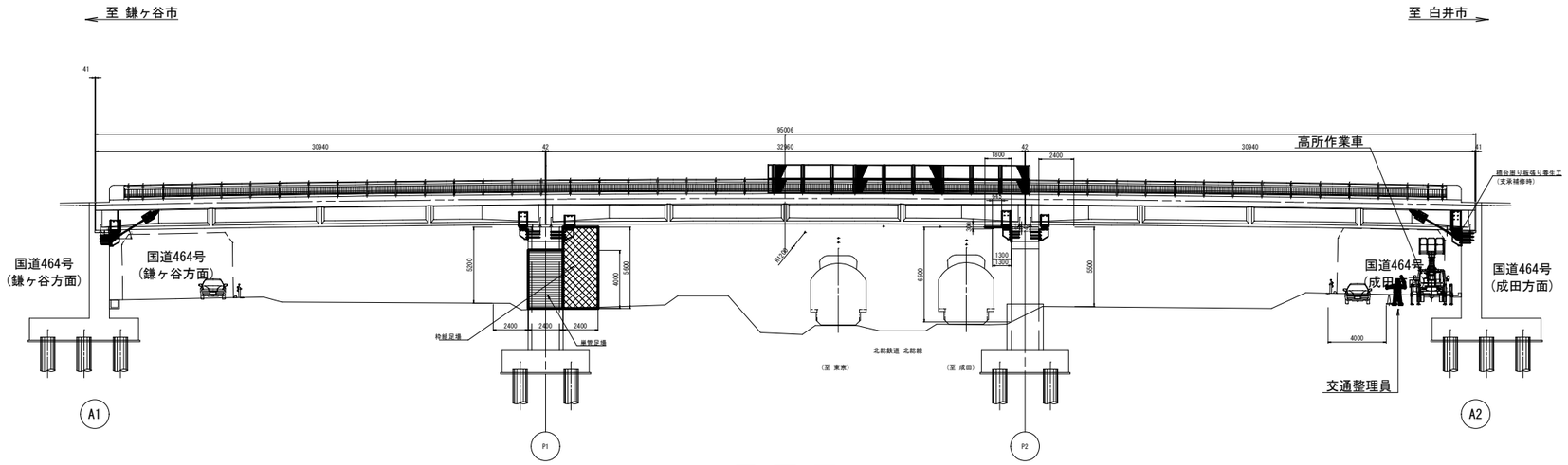
注記)
1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

〈107A橋〉

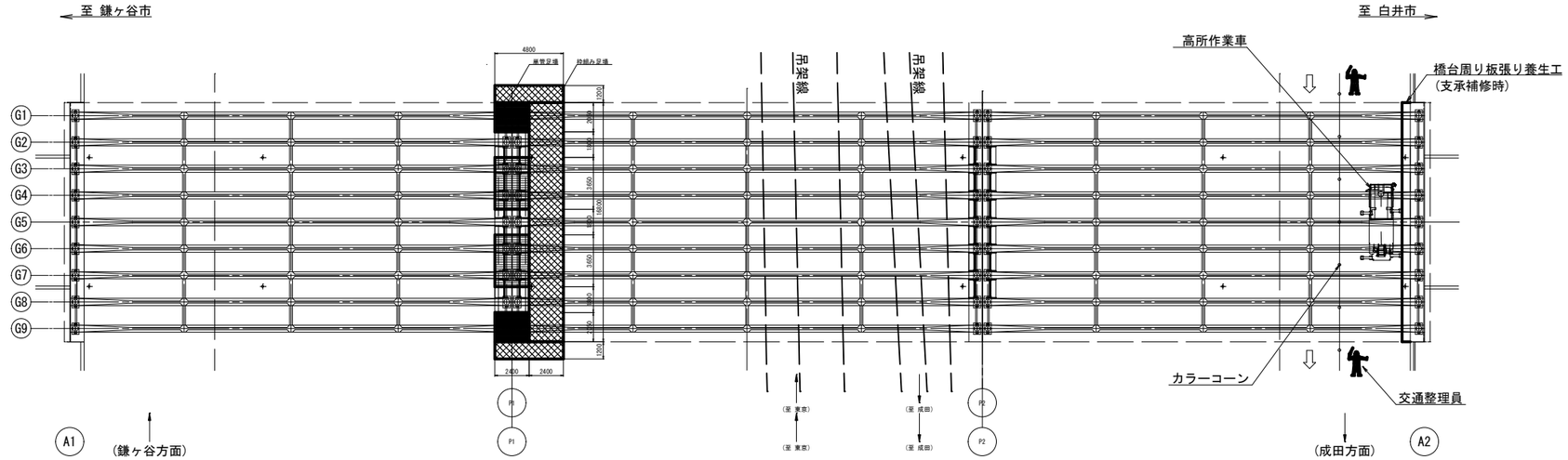
令和８年度			
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)		
工事箇所	白井市復地先		
図面種別	排水装置補修図		
図面番号	全２０葉之内１９号		
縮 尺	図 示		
白井市役所 都市建設部 道路課			
課 長		設計者氏名	

施工計画図(参考図)

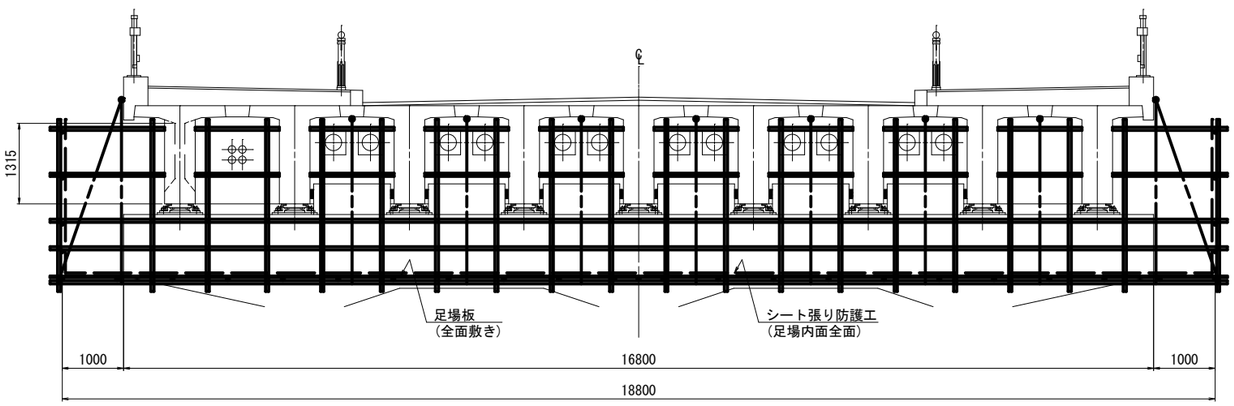
側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



P1側足場断面図 S=1:50



脚廻り足場施工面積

足場工の種類	幅(m)	高さ(m)	基数	面数	面積(掛m2)	適用
枠組足場	16.800	5.600	2	1	188.2	P1橋脚
	4.800	5.600	1	2	53.8	
	合 計				242.0	
単管足場	2.400×2.050×4.000/1.500(建地間隔)×2				26.2	P1橋脚
	2.400×3.650×4.000/1.500(建地間隔)×2				46.7	
	合 計				72.9	

注記)

1. 足場架設の際は、必要に応じて積載荷重を検討し、安全であることを確認のうえで施工にあたること。
2. 足場架設の際は、現地状況及び寸法を確認の上行うこと。
3. 足場には安全ネット及び養生ｼｰﾄなどの措置を行うこと。
4. 施工に先立って鉄道道路管理者と協議を行った上で、施工を行うこと。

〈107A橋〉

令和８年度	
工事名称	橋梁修繕工事 (R8)
工事箇所	白井市復地先
図面種別	施工計画図(参考図)
図面番号	全２０葉之内２０号
縮 尺	図 示
白井市役所 都市建設部 道路課	
課 長	設計者氏名